I·O DATA

TSR-MS4R 取扱説明書
（基本編）

この取扱説明書は、本製品でカメラの映像を見るまでをまとめたものです。
CD-ROM（付属）内の「TSR-MS4R取扱説明書.PDF」も合わせてお読みください。

142471-01

箱の中には

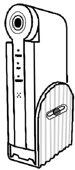
箱の中のものを確認します。□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



注意！

- **箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。**
- **イラストは若干異なる場合があります。**

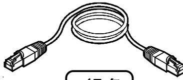
□ 本製品



背面にコンパクトフラッシュダミーカードが挿入されています。
移動・保管時にご利用ください、

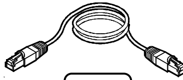
□ LANケーブル（2本：約1m）

・クロスケーブル



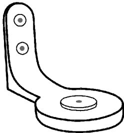
緑色

・ストレートケーブル



黒色

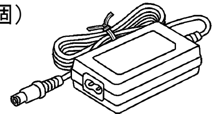
□ L字ブラケット（1個）



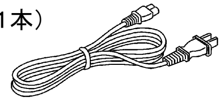
本製品を壁に取り付ける場合に使用します。
右のネジをご使用ください。

□ サポートソフトCD-ROM（1枚）

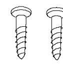
□ ACアダプタ（1個）



□ 電源ケーブル（1本）



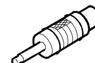
□ L字ブラケット取付用ネジ（2本）



□ 台座取付用ネジ（1本）



□ RCAライン入力変換アダプタ（1個）



□ ハードウェア保証書（1枚）

☑ 取扱説明書（1冊）

ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の裏面に貼られているシールに印字されている12桁のものです。（ 例： ABC1234567ZX ）
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。
また、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。

●ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/
●サポートソフトのダウンロード⇒http://www.iodata.jp/lib/

もくじ

カメラで映像を見るまでの設定

以下の流れにしたがって、本製品を使う環境をつくりましょう。

カメラで映像を見る

必要なときに読むところ

本製品の付属情報や使用中のトラブルがあったときの解決法です。

特徴

本製品は、カメラ映像と音声をリアルタイムにインターネットなどのネットワークに配信できるサーバー機能を持ったカメラ搭載のネットワークビデオサーバです。従来このような映像配信では多くの機材と専門知識が必要でしたが、本製品では簡単な設定操作でインターネットを利用した映像配信が実現できます。

■動画フォーマットに『MPEG-4規格』を採用

パソコンに限らず、PDAや携帯電話などでも多く利用されている「MPEG-4規格」を採用しています。そのため、様々な環境においてスムーズな動画配信、閲覧が可能です。

MPEG-4により、従来の1/5～1/7のデータサイズを実現しました。

（従来のMotionJPEG比較）

JPEG形式の静止画の配信もサポートしています。

※プレイヤの仕様により、設定したビットレートにより2～4秒映像が遅延する場合があります。
（ストリーム映像をバッファリングするためです。）

■映像と音声をミックスした動画コンテンツの作成・配信

「MPEG-4」を採用することにより、従来のMotionJPEGでは不可能であった映像と音声をミックスした動画コンテンツの作成と配信(ASFおよびRTP)が可能になります。

作成された動画および静止画データは、ネットワークを通じて配信したり、CFメモリーカードに記録することも可能です。

Windows標準プレイヤであるWindows Media Player 9やMac OS Ⅹ標準プレイヤーであるQuickTime 6.3以降、また、pvPlayer 3を使用することによりPocketPC（PDA）でも再生できます。

※プレイヤの仕様により、設定したビットレートにより2～4秒映像が遅延する場合がありますす。
（ストリーム映像をプレイヤー側がバッファリングするためです。）
※CFメモリーカードは弊社指定のCFメモリーカードを利用してください。
詳細は、【本製品に取り付けられるCFカード】(18ページ)を参照してください。

■コンパクトフラッシュカードスロットを装備

CF+™ Type Ⅱ準拠のスロットを装備しています。CFメモリーカードを挿入すると、動画記録が可能です。

また、その他の各種対応CFカードを挿入することにより機能を拡張することができます。（現在はメモリーカード、PHSカード、無線LANカードに対応しています。）

※これらの機能は弊社指定のCFカードでのみ有効です。
詳細は、【本製品に取り付けられるCFカード】(18ページ)を参照してください。

■*カメラとマイクを内蔵したネットワークビデオサーバ*

カメラとマイクおよびサーバ機能を一体化したことにより、簡単にネットワークに映像を配信することが可能です。
また、外付けのビデオカメラやマイクを接続することにより、目的に合った様々な用途に利用することも可能です。

■*『Webブラウザ』での動画の閲覧と操作設定*

本体の設定や動画の閲覧は、Webブラウザで行なえます。(設定は、Windowsのみ)

■*アクセス制限機能*

ユーザIDとパスワードにより、特定のユーザーにのみアクセスを制限する事ができます。

ASF(Advanced Streaming Format)

Microsoftが提唱する、マルチメディアデータをネットワークを通してストリーミングデータとして提供するためのフォーマットで、TCPプロトコルです。
ファイルフォーマットとしても利用可能で、本製品では、ASF形式でのCFメモリカード等へのファイル保存にも利用しています。
Windows Media Playerが対応しています。

RTP(Real Time Protocol)

RTPは、音声や映像をストリーミング再生するための伝送プロトコルで、パケットロス対策や伝送時間保証などは行われていないUDPプロトコルです。
QuickTime PlayerやpvPlayerをはじめとした多くのプレイヤソフトがRTPに対応しており、ストリーミングフォーマットとして、広く利用されています。

各種ネットワーク環境への対応

本製品は内蔵LAN接続以外にも次のような様々なネットワークに対応しています。

■無線ネットワーク環境への対応

・本製品のCF+ ™ Type Ⅱ準拠スロットにIEEE802.11b対応 無線LANカードやPHSモデムカードを搭載することで、無線ネットワークなどのワイヤレス環境での運用が可能になります。

※IEEE802.11b対応無線LANカードのインフラストラクチャモード、アドホックモードをサポートしています。（ローミング機能はサポートしていません。）

※無線LANをインフラストラクチャーモードで使用する場合、別途無線LANアクセスポイントが必要となります。

※PHSカードを使用した場合、PPP接続となります。

■PPPoE接続への対応

本製品はPPPoE接続に対応しています。そのため、ADSLモデムに本製品を直接接続することが可能です。

※PPPoE機能は本製品内蔵のLANインターフェイスのみで利用可能であり、CF+ ™ Type Ⅱ準拠スロットに搭載した無線LANカード等では利用することができません。

■PPP接続への対応

・本製品はPPPダイヤルアップ機能およびPPPサーバ機能を内蔵しています。

・PPP機能は、CF+ ™ Type Ⅱ準拠スロットにPHSカードを搭載した場合に使用します。

・PPPダイヤルアップ機能は、PHSカード(AirH″カードなど)を搭載している場合に、本製品から、プロバイダに対して、接続することができます。

※本機能を使用するためには、あらかじめ設定を行う必要があります。

・PPPサーバ機能は、PPPダイヤルアップ機能とは逆に外部からの本製品に対して直接、電話回線経由で接続される場合に使用されます。

※本機能を使用するためには、あらかじめ設定を行なう必要があります。

・PPPサーバ機能では、通常のユーザー名・パスワードの認証以外に、発信者番号通知によるアクセス制限を行う事も可能です。

■ダイナミックDNS機能およびIPアドレス通知機能について

・*動的IPアドレス環境下での運用サポート*

DHCP運用時、多くの場合、自動取得したIPアドレスが一定時間ごとに変更されます（動的IPアドレス環境）。そのため本製品が取得したIPアドレスの特定が困難となります。しかし、本製品では「ダイナミックDNS機能」や「IPアドレス通知機能」により動的IPアドレス環境下での運用がサポートされています。

・*ダイナミックDNS*

IPアドレスが変更された場合、ダイナミックDNSサーバのIP情報を更新することにより、常に同一のドメイン名でアクセスできます。

弊社提供のダイナミックDNSサービス「iobb.net」がご利用いただけます。

※詳細は以下をご覧ください。

http://www.iobb.net/

・*メール通知*

IPアドレスが変更された場合、その新しく取得したIPアドレスを記述した電子メールをあらかじめ設定された電子メールアドレスに自動的に送信します。

・*FTP転送*

IPアドレスが変更された場合、その新しく取得したIPアドレスを記述したリンクファイルをFTPにより、あらかじめ設定されたFTPサーバへ自動的に転送します。



参考

・「ダイナミック DNS 機能」および「IP アドレス通知機能」は本体内蔵 LAN ポートの内蔵 LAN 接続の他に、PPP 接続、無線 LAN 接続、PPPoE 接続でも使用できます。
・動的 IP アドレス環境下かどうかの確認は、ネットワーク管理者もしくはプロバイダにお問い合わせください。



参考

[IP アドレス通知機能によるメール通知のフォーマット]

以下の内容でメールが送信されます。

件名：TSR-MS4R IP address notificaition
内容：TSR-MS4R IP address Information
IP address　192.168.0.150
Subnet mask　255.255.255.0

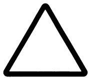
必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。
弊社の本製品以外の製品全般についての内容も記載しています。

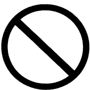
■警告および注意表示

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定され+る内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

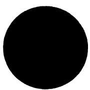
■絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。

警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。
また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。


分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。
指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
●給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。
給電されているLANケーブルを接続した場合には発煙したり、火災の原因となることがあります。


禁止

屋外ではご利用いただけません。

屋外でのご利用は動作対象外です。



本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、必ずパソコン本体・周辺機器の電源を切り、本製品の電源ケーブルのプラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

電源ケーブルを抜かずに行うと、感電および故障の原因となります。



本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。



決められた電流内で使用してください。

本製品を出力電流の絶対最大定格を超えた電流で使用または保管すると火災・感電・故障の原因となります。



故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外してください。また、電源や AC アダプタがある場合は、通電をしないでください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



日本国外で使用できません。



本製品は安定した場所に設置してください。

ぐらついた台の上や傾いたところには置かないでください。
落ちたり、倒れたりして事故の原因となります。水平なところに置いてください。



通気孔をふさがないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

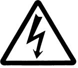


雷がなったらACアダプタや本製品に触れないでください。

雷により感電の原因となります。

電源ケーブルについて


厳守


感電注意


発火注意

電源ケーブルの取り扱いは以下のことにご注意ください。

●電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災・感電・故障の原因となります。
●濡れた手で電源ケーブルのプラグを、コンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。
●電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
●電源ケーブルのプラグはほこりが付着していないことを確認し、根本までしっかり差し込んでください。ほこりなどが付着していると接触不良で火災の原因となります。

ACアダプタについて


厳守


感電注意


発火注意

AC アダプタの取り扱いは以下のことにご注意ください。

火災・感電の原因となります。
●ACアダプタを使用する際は、必ず添付のACアダプタもしくは指定のACアダプタを使用してください。
●ACアダプタの上にものをのせたり、かぶせたりしないでください。
●ACアダプタを保温・保湿性の高いもの（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）の上ではご使用にならないでください。
●ACアダプタはAC100V以外の電圧で使用しないでください。
本製品に添付のACアダプタは、AC100V専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。

⚠ 注意


注意

本製品を使用する際に、取扱説明書などでの操作手順説明と異なった操作をしてデータが消失した場合は、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。
また、故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。
修理の際、検査のためにデータの消去などを行う場合があります。修理にお出しになる前にもバックアップを行ってください。


禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

●振動や衝撃の加わる場所
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所
●温湿度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力・電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所
●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所
（保管は問題ありません）
●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
●静電気の影響の強い場所
●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所（保管は問題ありません）


禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

●落としたり、衝撃を加えたりしない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない



パソコンから本製品にアクセス中（インジケータが点滅および点灯中）に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。



ケーブルについて

●ケーブルは足などに引っ掛からないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因となります。

●熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。

● 本製品の内蔵電池に関しての注意事項

本製品はリチウム電池を使用しております。

リチウム電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、交換、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。

リチウム電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

・電池の液漏れ時には注意する

電池から液が漏れたら、直ちに火気より遠ざけてください。

漏れた液や気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

また、目に入った場合は、きれいな水で洗った後、直ちに医師にご相談ください。

液が身体や衣服についた場合は、水でよく洗い流してください。

・製品の取り扱いには注意する

製品を火中に投入すると、破裂したり、激しく燃えることがあります。

製品内部の電池を分解すると発熱して発火することがあります。

製品内部の電池を100℃以上に加熱すると、電池内部にガスが発生して電池内部の圧力の上昇により破裂・発火することがあります。

その他使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

■取り扱い上の注意

・コネクタ部分に金属を差し込まないでください。

・ぬらさないでください。（屋外でのご利用は動作保証対象外です）

・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。

・モータなどノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してお使いください。

■誤接続の注意

LANコネクタ（RJ-45）には、適応規格外のケーブル（電話用ケーブル、INSケーブルなど）を挿し込まないでください。

■修理について

本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。

改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

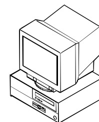
1 使う前の準備

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

必要なパソコン環境を確認する

本製品をご利用になるパソコンを確認します。

本製品の映像が見られるパソコン



本製品の映像を見るには、以下のパソコンが必要です。

対応機種	NEC PC98-NX シリーズ、DOS/V マシン※1 Apple Macintosh、PocketPC 2002
対応 OS （日本語版）	Windows XP（Service Pack 1 以降） Windows 2000（Service Pack 4 以降） Windows Me、Windows 98 Second Edition Mac OS Ｘ 10.2 以降
プロトコル	TCP/IP プロトコルがインストールされていること
LAN インターフェイス	10BASE-T の LAN アダプタ(Ethernet)が内蔵および装着され正常に動作していること
Web ブラウザ	Internet Explorer 6.0 SP1 以降※2 （Windows）
ソフトウェア	Windows Media Player 9 以降※3 （Windows） QuickTime Player 6.3+3GPP コンポーネントまたは 6.4 （Windows/Macintosh）
インターネット環境	本製品の映像を見るために必要なコーデックをインストールするために必要 （Windows Media Player 9 のみ）

※1 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。
※2 ActiveX、JavaScriptを有効に設定する必要があります。
　詳細は、【3. Webブラウザのセキュリティを設定する】（64ページ）を参照してください。
※3 MPEG-4、G.726、GSM-AMRに対応したコーデックが別途、必要となります。
　詳細は、【2. コーデックソフトをインストールする】（60ページ）を参照してください。

本製品の映像を見られるPDA

PDAからでも本製品の映像を閲覧できます。

対応機種	カシオ Cassiopeia E-700/E-750/E-2000 HP Jornada 548/525/568 コンパック 3630/3660(PPC2002アップグレード版) 東芝 Genio e 550(PPC2002アップグレード版) NEC PocketGear(MC/PG5000)
対応OS	Windows CE Pocket PC 2002
ネットワークプロトコル	適切にIPアドレスを設定している、もしくはDHCPサーバーから取得していること
ソフトウェア	pvPlayer3.0※

※ pvPlayer3をインストールするには、ホストとなるWindowsがインストールされたパソコンが必要です。
また、あらかじめホストPCとゲストとなるPDAの間で、Active Syncが利用できる環境であることを、確認してください。
Active Syncのインストールや設定方法は、各PDAメーカーにお問い合わせください。


参考

その他最新の対応 PDA については弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)をご確認ください。

本製品の映像を見られる携帯電話

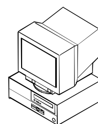
携帯電話からでも本製品の映像を閲覧できます。(JPEGによる擬似動画表示)

対応機種	i アプリ対応(DoJa2.0 対応)NTT ドコモ製携帯電話 i-mode 504i シリーズ、505i シリーズ FOMA 2051 シリーズ、2701 シリーズ、2102 シリーズ


参考

その他最新の対応携帯電話については弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)をご確認ください。

本製品を設定できるパソコン(Windowsのみ)



本製品を設定するには、以下のパソコンが必要です。

対応機種	NEC PC98-NX シリーズ DOS/V マシン※1
対応 OS (日本語版)	Windows XP(Service Pack 1 以降) Windows 2000(Service Pack 4 以降) Windows Me、Windows 98 Second Edition
プロトコル	TCP/IP プロトコルがインストールされていること
LAN インターフェイス	10BASE-T の LAN アダプタ(Ethernet)が内蔵および装着され正常に動作していること
Web ブラウザ	Internet Explorer 6.0 SP1 以降※2
CD-ROM ドライブ	添付ユーティリティをインストールする場合に必要

※1 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。
※2 ActiveX、JavaScriptを有効に設定する必要があります。
詳細は、【3. Webブラウザのセキュリティを設定する】(64ページ)を参照してください。
Mac OSなど上記以外の環境からの設定は、サポート対象外です。

本製品に取り付けられるCFカード

本製品背面には、CF Type Ⅱ準拠カードスロットがあります。
このCFカードスロットにメモリーカード、PHSカード、無線LANカードを挿入することによって機能を追加することができます。
現在本製品がサポートしているCFカードは以下のとおりです。

カード種別	製品名
フラッシュメモリカード	CFS シリーズ、CFX シリーズ
無線 LAN カード *(IEEE 802.11b)*	WN-B11/CFL、WN-B11/CF
PHS カード	NTT ドコモ P-in m@ster
	DDI ポケット AirH″ AH-H401C、AH-H403C AH-N401C C@rd H″ CFE-02
マイクロドライブ	CFMD-1Gi

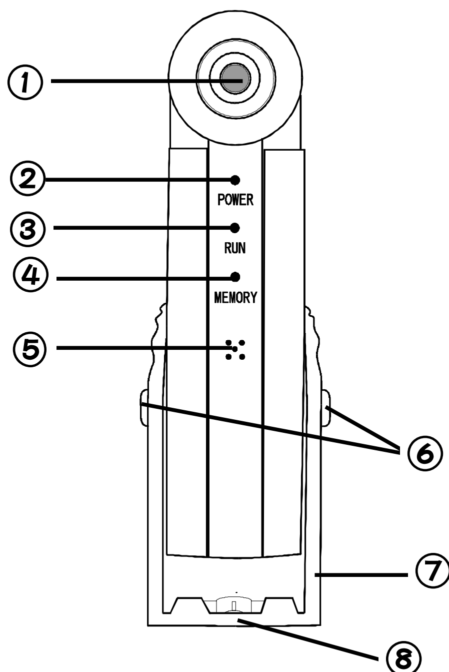


参考

その他最新の対応 CF カードについては弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)をご確認ください。

各部のなまえとはたらき

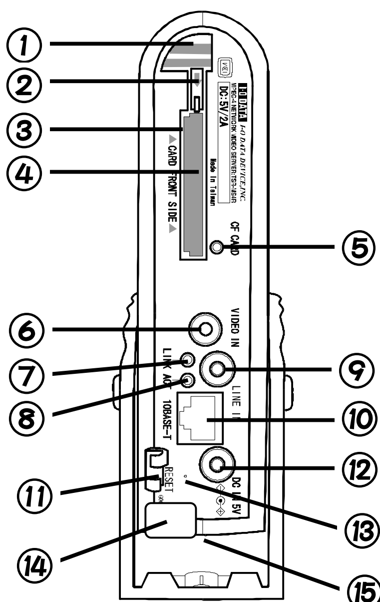
■前面■



No	名称	用途
①	レンズ部	キズつけないようご注意ください。
②	POWERランプ	本製品の電源状態を表示します。 電源ON時：　緑点灯 電源起動中：　緑点灯 電源OFF時：　消灯 ※電源ON後、起動するまでの約90秒間は以下となります。 「②POWERランプ」　→　緑点灯 「③RUNランプ」および「④MEMORYランプ」 →　2つのランプが同時に緑とオレンジの点滅を繰り返す。 その後（点滅停止）から約10秒後に起動が完了

③	RUNランプ	ストリーム配信状態を表示します。 配信時:　　緑点滅 無配信時:　消灯 配信異常時:赤点灯
④	MEMORYランプ	データ記録状態を表示します。 記録中:　　緑点灯 無記録時:　消灯 記録異常時:赤点灯 CFカードの空き領域不足時:　赤点滅
⑤	内蔵マイク	本製品の周りの音を取り込みます。
⑥	本体固定用ネジ (左右2カ所)	前後30度程度、傾けることができます。
⑦	台座	本製品を机などに置くときの台となります。 *※常に取り付けて使用します。*
⑧	三脚取り付け穴	JIS B7103 1/4規格に適合した三脚取り付け用ネジに対応しています。

■背面■



No	名称	用途
①	通気孔	ふさがないでください。
②	カード取り出しボタン	CFカードを取り出すボタンです。（取り出し方の詳細は「TSR-MS4R取扱説明書.PDF」の【CF（コンパクトフラッシュ）カードを使う】110ページ参照）
③	コンパクトフラッシュカードスロット	CFカードの挿入口です。 *※出荷時には、CFダミーカードが挿入されています。* *本スロットをご使用にならない場合は必ずダミーカードを挿入しておいてください。*
④	コンパクトフラッシュダミーカード	CFカードスロットにゴミやほこりが入らないようにするためのものです。 取り出した場合は、なくさないようご注意ください。
⑤	CF CARDランプ	CFカードの認識状態を表示します。 CFカードを挿入して認識すると、緑色に点灯します。 認識されなかった場合は、点灯しません。
⑥	ビデオ入力端子（RCA）	ビデオカメラ側の出力端子との接続端子です。
⑦	LINKランプ	LANのリンク（接続）状態を表示します。 リンク時： 緑色点灯 リンク切断時： 消灯
⑧	ACTランプ	LANのデータ送受信状態を表示します。 データの送受信に応じて緑色に点滅します。
⑨	LINE入力端子	Φ3.5mmモノラルミニジャック
⑩	10BASE-T LANポート	イーサネット（Ethernet）ケーブルを接続します。
⑪	ACアダプタケーブル固定用フック	添付のACアダプタケーブルをひっかけて簡単に抜けないように固定するためのものです。（詳細は28ページ参照）
⑫	DCコネクタ	添付のACアダプタのDCプラグを挿入します。
⑬	全初期化ボタン	各種設定を初期値（工場出荷値）に戻します。 細長いピン（クリップの先）などで押しながら電源を投入します。
⑭	シリアルNo.MACアドレスシール	本製品のシリアルNo.およびMACアドレスが表示されたシールが貼られています。
⑮	通気孔	ふさがないでください。

MEMO

2 設置や基本操作

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

設置や角度の調整について

本製品を設置する際には、周辺の環境に充分注意してください。
本製品は、電波によって通信を行いますので、環境によっては正常に通信できなくなる場合があります。

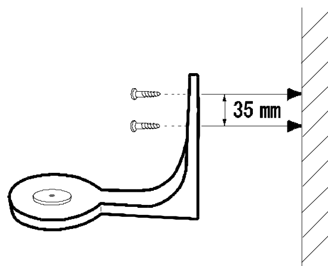
壁にかける場合

本製品を壁にかけて設置する場合には、添付の「L字ブラケット」を使って設置します。

1 本製品を設置する壁の位置を決めます。

2 添付の「L字ブラケット」を［L字ブラケット取り付け用ネジ］2本でプラスドライバなどを使って以下のように壁に取り付けます。

・2本のネジは床に対して垂直
・ネジのセンター同士は約35mm





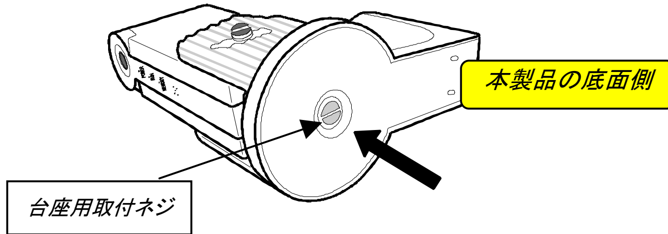
注意！

添付のL字ブラケット取付用ネジで壁に取り付ける際は、以下にご注意ください。

- **壁に十分な厚みと強度があることを確認した上で、強固・確実に取り付けてください。**
- **必ず2本のL字ブラケット取付用木ネジを使用してください。1本だけ使用して取り付けると、落下の危険性が生じますので、絶対におやめください。**
- **L字ブラケットは、本製品を取り付ける円盤部分が下側になるよう、まっすぐに取り付けてください。L字ブラケットを斜めや逆さにしないでください。**
- **ネジを強くしめ過ぎて壊さないように注意してください。**
- **L字ブラケットは、本製品の取り付け以外には使用しないでください。**
- **壁に取り付けた本製品、およびL字ブラケットのそばを通るときは、ぶつかったり、物をぶつけないように注意してください。**

3 本製品を取り付けます。

本製品を壁に取り付けたL字ブラケットに載せ、下側から添付の「台座用取付ネジ」で固定してください。





注意！

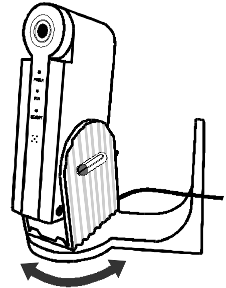
本製品をＬ字ブラケットに取り付ける際は、以下にご注意ください。

- 本製品の電源を切り、すべてのケーブル類を外した状態で行なってください。
- ネジを強くしめ過ぎて壊さないように注意してください。
- 壁に取り付けた本製品、およびＬ字ブラケットのそばを通るときは、ぶつかったり、物をぶつけないように注意してください。



参考

Ｌ字ブラケットを固定している台座取付用ネジをゆるめることで、本製品の左右の角度を調整できます。
角度が決まったら、台座取付用ネジをしめ、本製品を確実に固定してください。



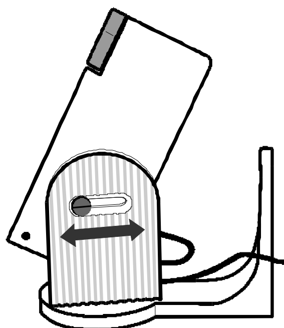
三脚に設置する場合

本製品は、以下の部材を利用して取り付けることができます。

- 一般的な市販の三脚（JIS B 7103 1/4規格のネジが使用されていること）
- 三脚取付用ネジ（JIS B 7103 1/4）が使われている市販のブラケット

前後の角度を調整する

本製品は、本製品側面の固定用ネジを両側ともゆるめることにより、前後に30度ずつ角度を調整することができます。
角度が決まったら、本製品側面のネジでしめ、固定してください。





注意！

- 固定用ネジを片側だけゆるめての調整はしないでください。本製品や台座が壊れる恐れがあります。
- 台座を加工するのは危険ですので、絶対におやめください。
- 固定用ネジをしめる際には、両側とも均等にしめてください。
  片側だけをかたくしめたりすると危険ですので、おやめください。
  また、ネジをしめすぎて台座を壊さないように注意してください。

電源を入れる・切る

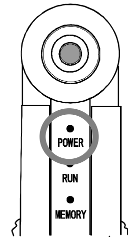
本製品の電源は、電源プラグをコンセントから抜き差しすることで行います。

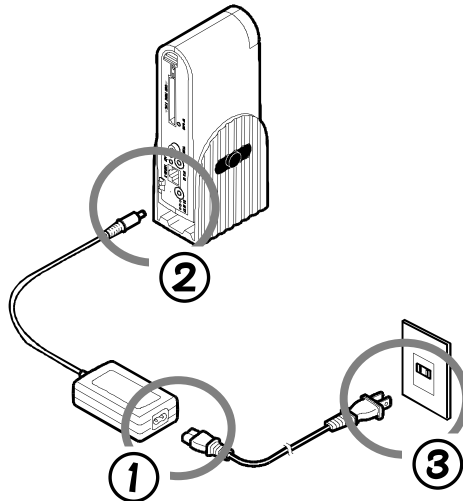
電源を入れる

1 添付の「ACアダプタ」と「電源ケーブル」を接続後、
「ACアダプタ」を本製品に接続し、電源コンセントに接続します。

→本製品背面の［POWER］ランプが緑色に点灯することを確認してください。

ランプ点灯後、しばらく起動準備を行います。
起動が完了するには、電源投入後、*約90秒* かかります。（以下の【注意】参照）
［POWER］ランプのみが点灯していれば起動完了です。







注意！

・**本製品の起動には電源投入後、約 90 秒かかります。**
本製品表面パネルの［POWER］ランプが緑に点灯したあと、起動中は［RUN］ランプと［MEMORY］ランプが2つとも同時に緑とオレンジの点滅を繰り返します。
起動完了後、［POWER］ランプのみが緑に点灯します。

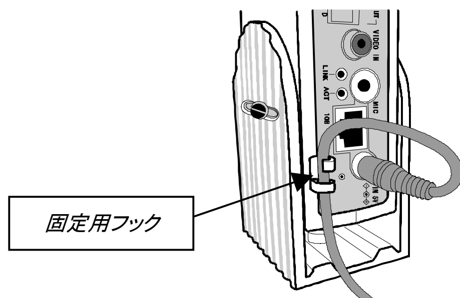


注意！

- 電源を入れる際には、DC プラグを本製品背面の DC コネクタに取り付けてから、電源プラグをコンセントに挿してください。
  逆に電源プラグをコンセントに挿してから、DC プラグを本製品背面の DC コネクタに取り付けると感電を引き起こす原因となります。
- 電源を入れた後、異臭や異音、発熱、その他異常がないか確認してください。異常があれば、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止してください。
  火災、感電、故障を引き起こす原因となります。
- AC アダプタを『電子式変圧器』などに接続しないでください。
  発熱や故障の原因となります。
- AC アダプタの近くでラジオなどを使用すると、雑音が入る場合があります。
  AC アダプタから離してご使用ください。

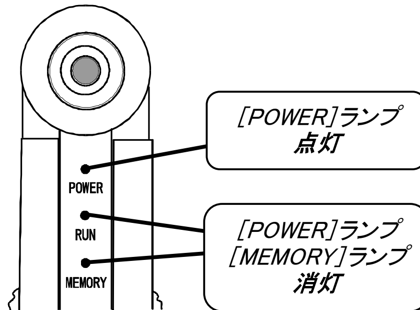
2 ケーブルを固定用フックに固定します。

ACアダプタのDCプラグに近いケーブルを、本製品背面の固定用フックに通し、ケーブルを固定してください。
DCプラグの抜けを防止するために、固定用フックに必ずケーブルを通して固定してください。
また、固定用フックにケーブルを通す際には、ケーブルのループが上を向く状態でフックに固定してください。



電源を切る

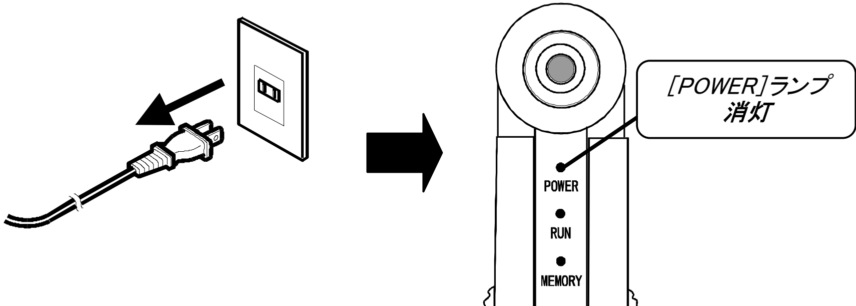
1 本製品へのアクセス*（本製品へのアクセスおよびCFカードご利用の場合はCFカードへのアクセス含む）*がないことを確認してください。
※以下のような状態であればOKです。




注意！

- **本製品へのアクセス中には、絶対に電源を切らないでください。
故障の原因となります。
本製品で CF（コンパクトフラッシュ）カードをお使いの場合は、CF カードにアクセスがないこともご確認ください。**
- **電源を切る際には、本製品背面の[DC コネクタ]から DC プラグを抜くのではなく、最初に電源プラグを抜き、その後 DC プラグを抜いてください。
感電の原因となります。**

2 電源ケーブルをコンセントから抜きます。
→ [POWER]ランプが消灯することを確認します。



本製品の映像を見るには

本製品の映像を見るには、設定用パソコンで、導入するネットワークに応じて本製品の設定が必要です。
また、本製品を設定するパソコンの準備も必要です。
以下の手順に従って作業を進めてください。

作業1: **本製品を設定するパソコンの準備**

本製品の映像を見るには、本製品の設定が必要です。
設定はパソコン（設定用パソコン）を本製品を接続後、設定画面から行います。

1. 設定ユーティリティをインストールする ･････････････ 31ページ
2. 設定用パソコンを接続する ･･････････････････････････ 35ページ
3. IPアドレスを設定する ･･････････････････････････････ 39ページ

作業2: **ネットワークに導入する**

導入したいネットワークに応じた本製品の設定を行います。
導入するネットワークをご確認ください。

ネットワーク構成例 ････････････････････････････････････ 44ページ
インターネットを利用し、みんなで映像を見る場合 ･････ 48ページ

作業3: **映像を見る**

ネットワークに導入後、本製品の映像を見てみましょう。

ブラウザやWindows Media Player 9で映像を見る ･･･ 57ページ
(Windows)
QuickTimeで映像を見る（Windows＆Macintosh） ････････ 73ページ
pvPlayer3で映像を見る（Pocket PC 2002） ････････････ 83ページ
携帯電話から映像を見る ･･･････････････････････････････ 89ページ

3 本製品を設定するパソコンの準備

設定ユーティリティのインストール

本製品の映像を見るには、最初に本製品を設定する必要があります。
設定は、添付のCD-ROM内のユーティリティを使って、Windowsから行います。
以下の手順でインストールしてください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。



注意！

Windows XP では[コンピュータの管理者のアカウント]で、Windows 2000 では[Administrator]権限でログオンしてください。

2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

→ 自動的にメニュー画面が表示されます。



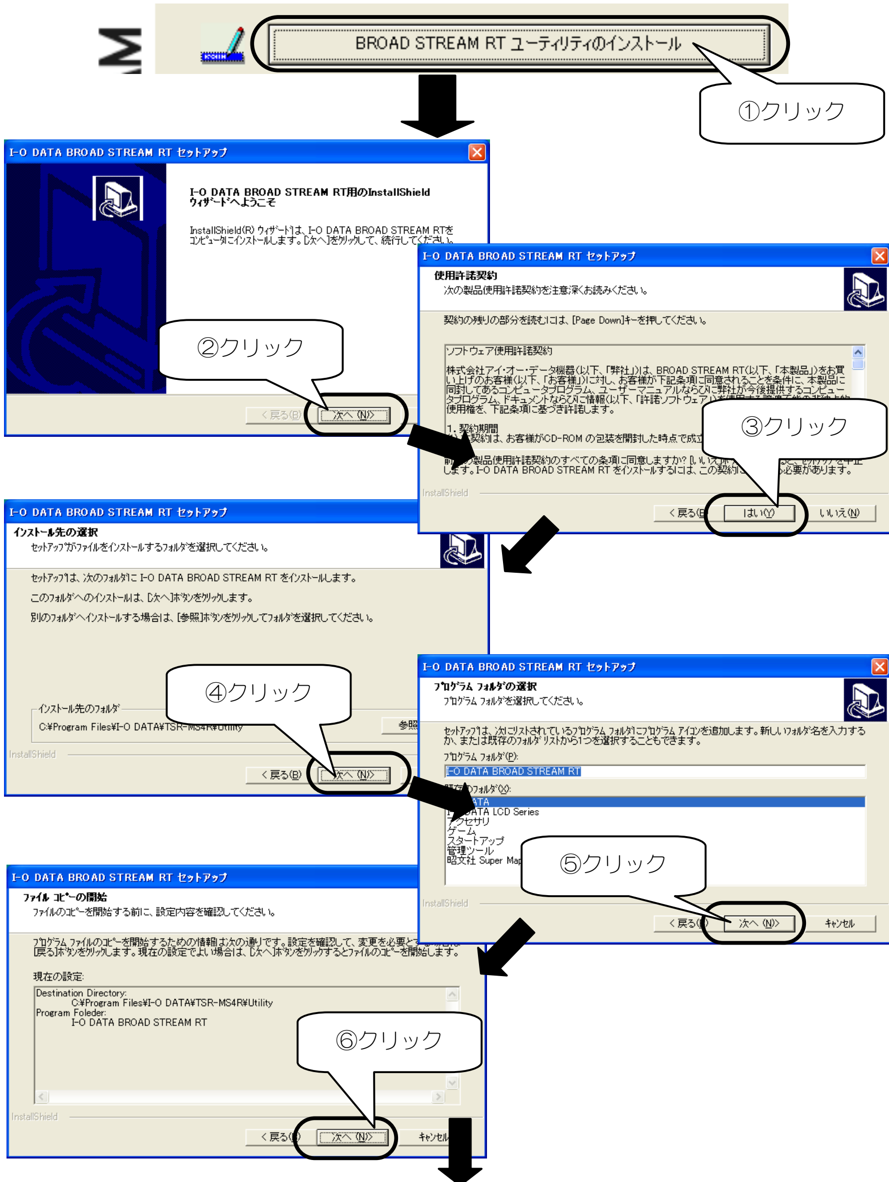
[CDメニュー]

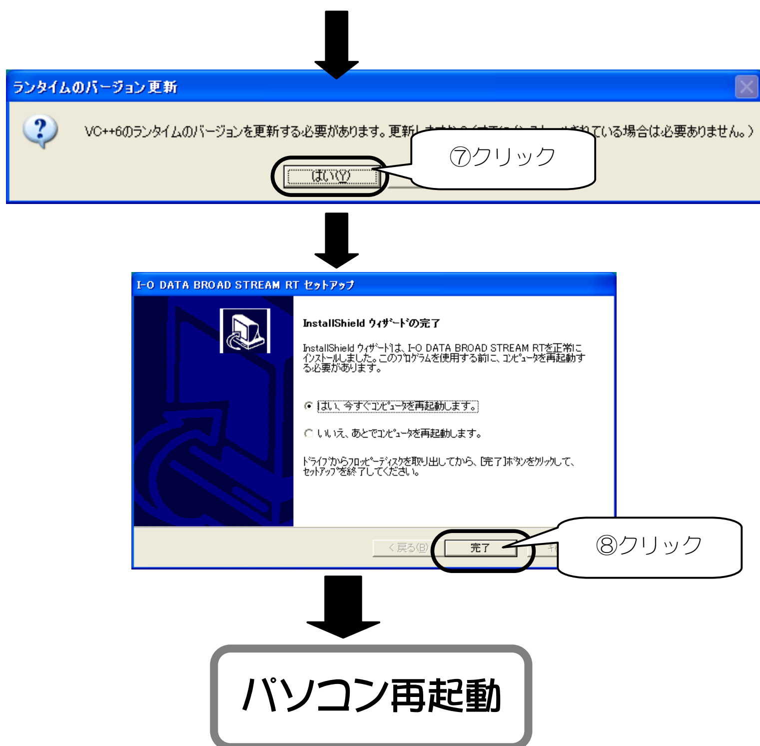


参考

メニュー画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]内の[Setup.exe]アイコンをダブルクリックしてください。

3 画面の「BROAD STREAMユーティリティのインストール」をクリックします。
後は、画面の指示に従ってインストールしてください。





以上でインストールは終了です。
次ページへお進みください。

4 接続する

設定用パソコンを接続する

パソコン（設定用パソコン）を本製品に接続します。
※設置用パソコンにはLANコネクタ（LANアダプタ）が必要です。

1 本製品の電源が切れている*（[POWER]ランプが消灯している）*ことを確認します。電源が入っている場合は、電源ケーブルをコンセントから抜きます。

→ ［POWER］ランプが消灯することを確認します。

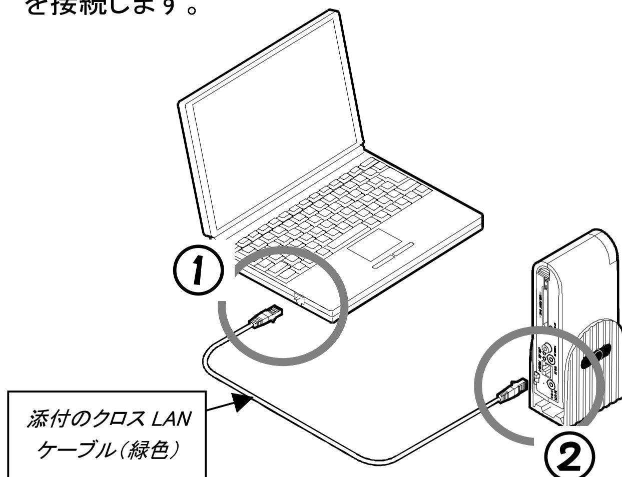


注意！

・電源を切る際には、本製品背面の［DC コネクタ］から DC プラグを抜くのではなく、最初に電源プラグを抜き、その後 DC プラグを抜いてください。
感電の原因となります。
・本製品へのアクセス中には、絶対に電源を切らないでください。
故障の原因となります。
本製品で CF（コンパクトフラッシュ）カードをお使いの場合は、CF カードにアクセスがないこともご確認ください。

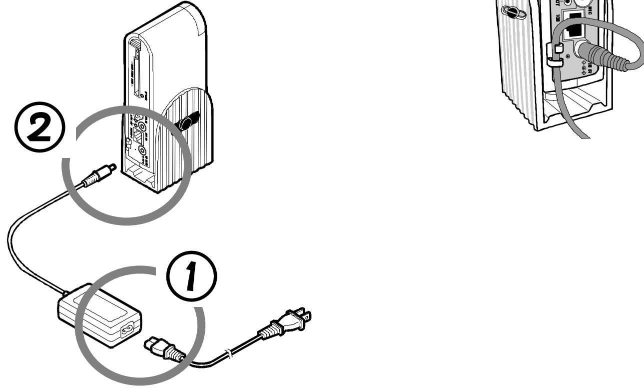
2 パソコンの電源が切れていることを確認します。

3 添付のLANケーブル（クロスケーブル：緑色）で本製品とパソコンのみを接続します。

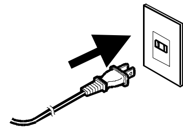


4 電源ケーブルとACアダプタを接続後、本製品にACアダプタを接続します。

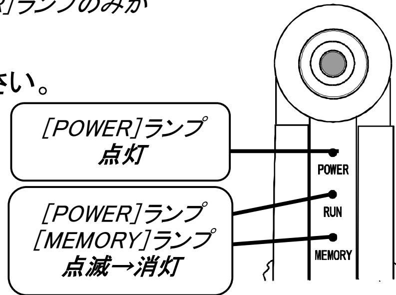
ACアダプタケーブルは必ず背面の「固定用フック」に取り付けて外れないようご注意ください。）



5 電源ケーブルをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。



起動が完了する*（[POWER]ランプのみが緑色に点灯すること）*まで約90秒ほど、お待ちください。





注意！

電源投入後、本製品表面パネルの[POWER]ランプが緑に点灯したあと、起動中は[RUN]ランプと[MEMORY]ランプが2つとも同時に緑とオレンジの点滅を繰り返します。起動完了後、[POWER]ランプのみが緑に点灯します。

6 本製品の起動完了後、パソコンの電源を入れます。

この後、39ページへお進みください。

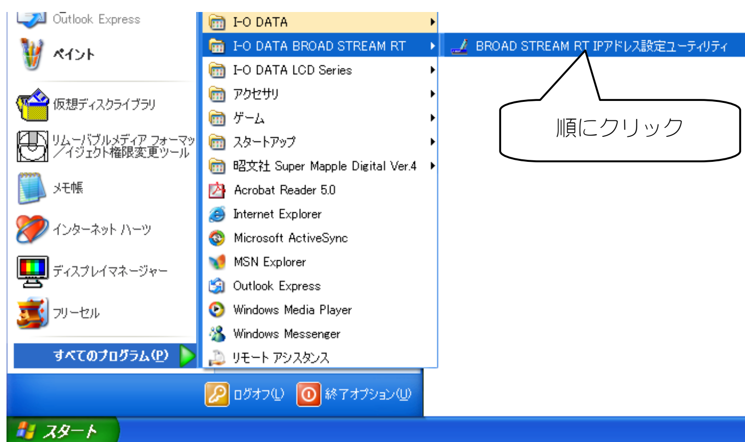
MEMO

5 IPアドレスを設定する

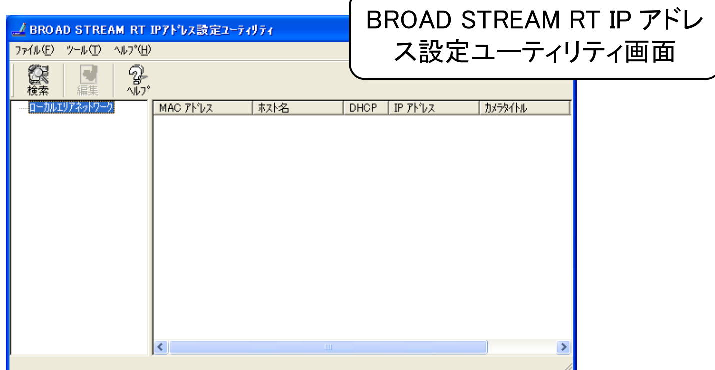
本製品のIPアドレスを設定する

本製品のIPアドレスを、インストールした[IPアドレス設定ユーティリティ]で設定します。

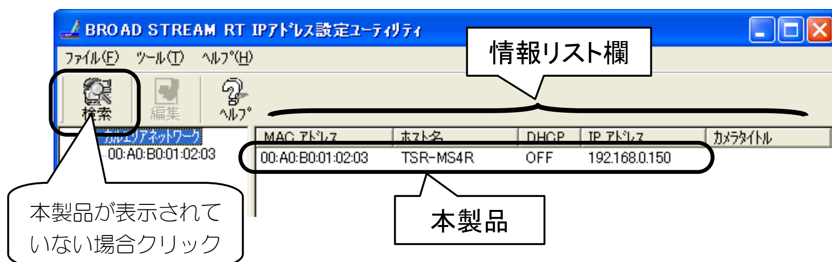
1 [スタート]→[プログラム]*(または[すべてのプログラム])*→[I-O DATA BROAD STREAM RT]→[BROAD STREAM RT IPアドレス設定ユーティリティ]を順にクリックします。
→[BROAD STREAM RT IPアドレス設定ユーティリティ]画面が表示されます。







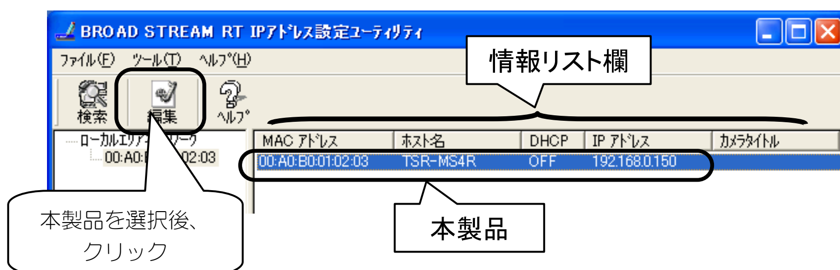
2 ［情報リスト］欄の本製品が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、［検索］をクリックします。
→本製品が表示されます。



［情報リスト］欄に本製品が表示されない場合は…

物理的に接続が正しく行われていることを、確認してください。なお、ルータ越えなどの異なるネットワークにある本製品の設定を行うことはできません。
また、ファイアウォールソフトなどが導入されている場合は、表示されないことがあります。

3 設定したい本製品を情報リスト欄上でクリックし、［編集］ボタンを、クリックします。



4 本製品設定用の編集ウィンドウでIPアドレスなどを設定します。

IPアドレス・サブネットマスクを、使用環境にあわせて設定してください。
認証ユーザーIDおよびパスワードも入力し、[設定]ボタンをクリックします。
(初期値は、ユーザーID「admin」、パスワードは「」(空白)となっています。)

編集

カメラサーバー情報

MACアドレス： 00:A0:B0:01:02:03

DHCPクライアント機能を使用する(D)
固定IPアドレスを指定する(F)
IPアドレス(I)： 192 168 0 150
サブネットマスク(N)： 255 255 255 0

①設定
ご利用のネットワーク環境に応じて設定

ホスト名(H)： TSR-MS4R
カメラタイトル(T)：

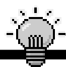
②本製品の初期設定値を入力
ユーザーID：「admin」
パスワード：「」入力しない

認証
ユーザーID(U)：
パスワード(P)：
タイピング表示(S)

設定 キャンセル ヘルプ

③クリック

「設定」ボタンクリック後、本製品への設定が完了するまで、
約90秒かかります。
しばらく、そのままお待ちください。



参考

弊社製ルータの LAN 側のネットワークに本製品を追加して利用する予定の場合は、初期値(192.168.0.150)のままでご利用いただけます。
(ルータの LAN 側の IP アドレスが 192.168.0.1 の場合)

以上で設定は終了です。
本製品をご利用のネットワークに導入し、必要な設定を行ってください。
次ページへお進みください。

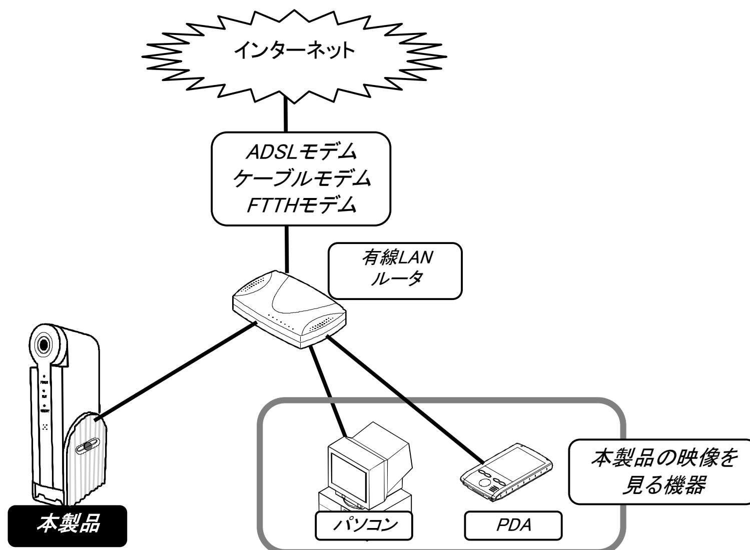
6 ネットワークに導入する

ネットワーク構成例

本製品のネットワーク構成例を示し、そのネットワーク構成に応じた、最低限必要な本製品の設定項目を説明します。

構成例①：同一LAN上のパソコンから接続して、映像を見る例

一番基本となる接続です。57ページ以降の映像を見る手順を行った後、映像が見えることを確認してください。



この場合、以下の設定が必要となります。

本製品の設定	IPアドレスの設定
本製品の映像を 見る機器側の設定	本製品の映像を見る設定 パソコンの場合　→ 57ページまたは73ページ参照 PDAの場合　→ 83ページ参照



参考

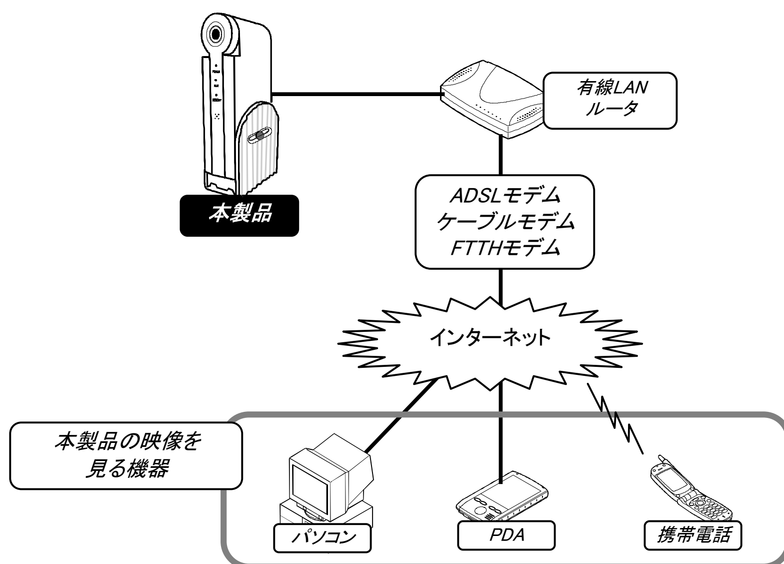
映像を見るためには、本製品およびパソコン（あるいは PDA）に正しく IP アドレスが割り当てられている必要があります。
弊社製ルータの LAN 側のネットワークに本製品を追加していただく場合は、初期値（192.168.0.150）のままでご利用いただけます。（ルータの LAN 側の IP アドレスが 192.168.0.1 の場合）

構成例②:インターネットを利用し、みんなで映像を見る例

以下は、本製品に有線LANルータ経由でインターネットにネットワーク接続している例です。
インターネット経由でパソコンやPDAあるいは携帯電話から本製品の映像を見ることができます。

※携帯電話からの閲覧の場合は、インターネットへの接続が必須となります。

設定手順の詳細 → 48ページへ



この場合、以下の設定が必要となります。

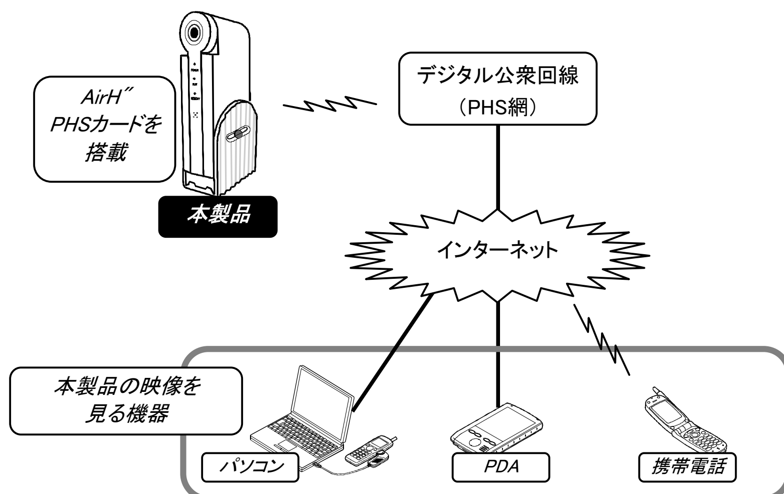
本製品の設定	IPアドレスの設定・ダイナミックDNSの設定 → 50ページ
有線LANルータの設定	本製品をバーチャルサーバ(仮想サーバ)あるいはDMZにする設定 → 55ページ参照
本製品の映像を見る機器側の設定	本製品の映像を見る設定 パソコンの場合 → 57ページまたは73ページ参照 PDAの場合 → 83ページ参照 携帯電話の場合 → 89ページ参照

構成例③:AirH″(常時接続)を利用し、みんなで映像を見る例

以下は、本製品にAirH″ PHSカードを接続し、インターネット経由で本製品に接続している例です。
インターネット回線を引けない場所での設置する場合でも、PHSネットワークを経由して、パソコンやPDAあるいは携帯電話から本製品の映像を見ることができます。

設定手順の詳細 → 「TSR-MS4R取扱説明書.PDF」※の58ページ参照

※CD-ROM内[Manual]フォルダ内の「TSR-MS4R取扱説明書.PDF」参照





注意!

- **AirH″カードは、128k 常時接続契約が必要です。**
- **AirH″の上り回線を利用するため、、32k～64kbps のビットレートでの利用となります。**
- **パケット方式の性質上、安定して画像転送できない場合があります。**

この場合、以下の設定が必要となります。

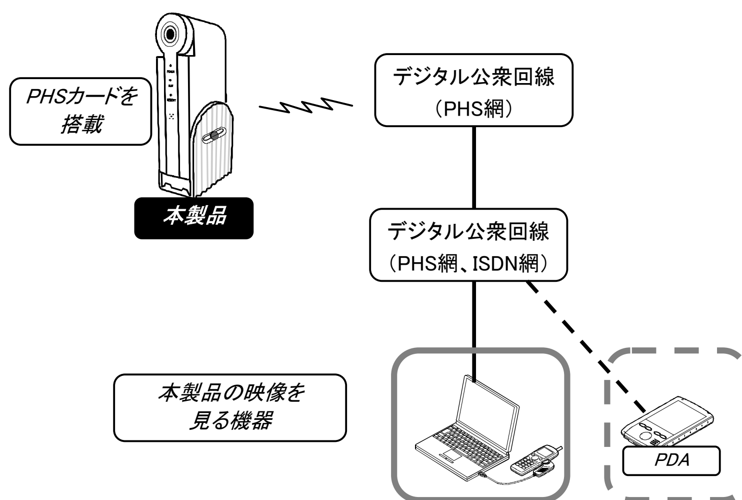
本製品の設定	PHSカードの取り付け、ダイヤルアップの設定 IPアドレスの設定
本製品の映像を 見る機器側の設定	本製品の映像を見る設定 パソコンの場合 → 57ページまたは73ページ参照 PDAの場合 → 83ページ参照 携帯電話の場合 → 89ページ参照

構成例④:電話回線(PHS)を利用し、映像を見る例

以下は、本製品にPHSカードを搭載し、デジタル公衆回線(PHS網)経由で本製品に接続している例です。デジタル公衆回線(PHS網)経由でパソコンやPDAから本製品の映像を見ることができます。

設定手順の詳細 → 「TSR-MS4R取扱説明書.PDF」※の65ページ参照

※CD-ROM内[Manual]フォルダ内の「TSR-MS4R取扱説明書.PDF」参照





注意!

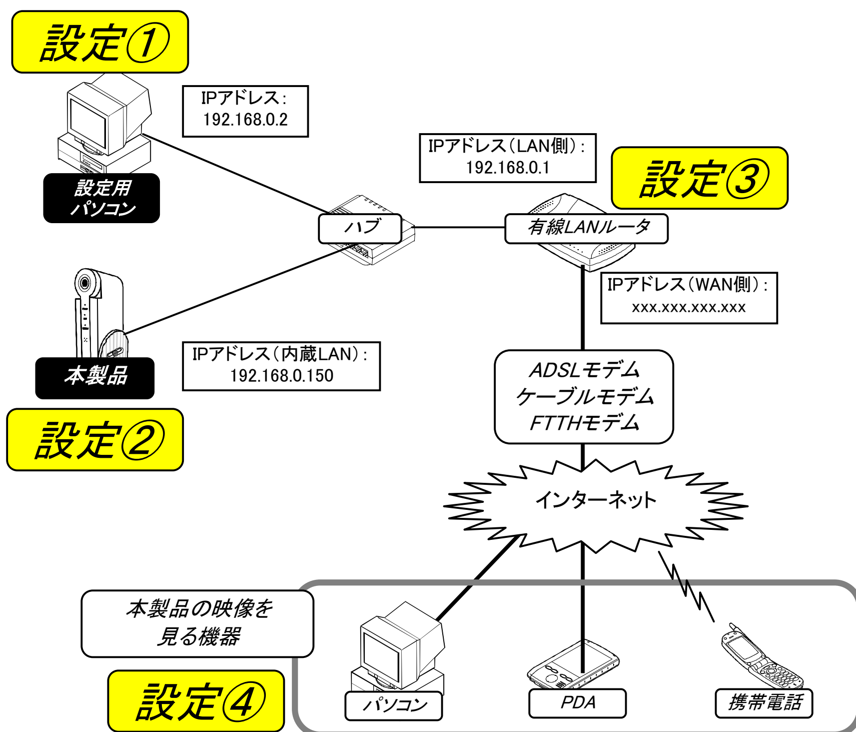
- **映像を見るパソコンには、PHS または ISDN 回線(デジタル)が必要です。**
  アナログ(モデム)では接続できません。
- **同時に複数のパソコンや PDA から本製品に接続することはできません。**
  (本製品の PPP サーバ機能はダイヤルアップ[PPP 着信]を1つしか受けられないためです。)
- **PIAFS 接続のため、32kbps または 64kbps での接続となります。**
  ビットレートは、32kbps～64kbps で設定してください。

この場合、以下の設定が必要となります。

本製品の設定	PHSカードの取り付け、ダイヤルアップの設定 IPアドレスの設定
本製品の映像を 見る機器側の設定	本製品の映像を見る設定 パソコンの場合　→ 57ページまたは73ページ参照 PDAの場合　→ 83ページ参照

インターネットを利用し、みんなで映像を見る場合

以下は、本製品に有線LANルータ経由でインターネットにネットワーク接続している例です。インターネット経由でパソコンやPDAあるいは携帯電話から本製品の映像を見ることができます。



この場合、以下の順に設定が必要となります。
詳細は次ページ以降を参照してください。

設定①:設定用パソコンの設定 → 次ページ
設定②:本製品の設定 → 50ページ
設定③:ルータの設定 → 55ページ
設定④:映像を見る機器の設定 → 56ページ

設定①:設定用パソコンの設定

設定用パソコンを設定しておく必要があります。
設定の詳細は、【本製品を設定するパソコンの準備】（31ページ）を参照してください。



参考

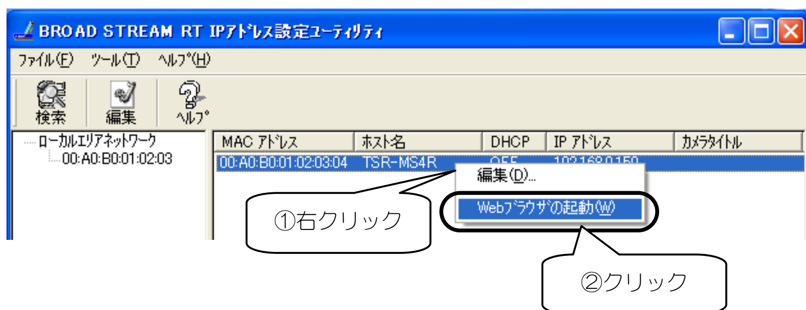
本製品および設定用パソコンに正しくIP アドレスが割り当てられている必要があります。弊社製ルータの LAN 側のネットワークに本製品を追加していただく場合は、初期値（192.168.0.150）のままでご利用いただけます。（ルータの LAN 側の IP アドレスが 192.168.0.1 の場合）

設定②:本製品の設定

本製品をネットワーク構成に応じた設定にする必要があります。

1 [BROAD STREAM RT IPアドレス設定ユーティリティ]画面を起動します。
(【IPアドレスを設定する】39ページ参照)

2 本製品を右クリック後、[Webブラウザの起動]をクリックします。



3 本製品のWeb設定画面が表示されます。



4 ［セッティング］→［ネットワーク設定］→［内蔵LAN設定］を順にクリックし、本製品を接続しているルータのLAN側のIPアドレスと同じセグメントに合わせ、［設定］ボタンで設定します。

BROAD STREAM RT - TSR-MS4R - Microsoft Internet Explorer

http://192.168.0.150/

セッティング

ネットワーク設定

内蔵LAN設定

内蔵されている10BASE-Tインターフェイスに関する設定を行います

ここを設定

IPアドレス

固定IPアドレスを指定する

IPアドレス 192.168.0.150

サブネットマスク 255.255.255.0

IPアドレスを自動的に割り当てる

E-mailによる通知

FTPによる通知

ルータの LAN 側 IP アドレスを設定（65 ページ図の例では 192.168.0.1）

デフォルトゲートウェイ 192.168.0.1

DNSサーバ

ダイナミック DNS を使用する場合は、プロバイダ指定の DNS サーバを指定

DNSプライマリ 192.168.0.1

DNSセカンダリ

設 定　ヘルプ

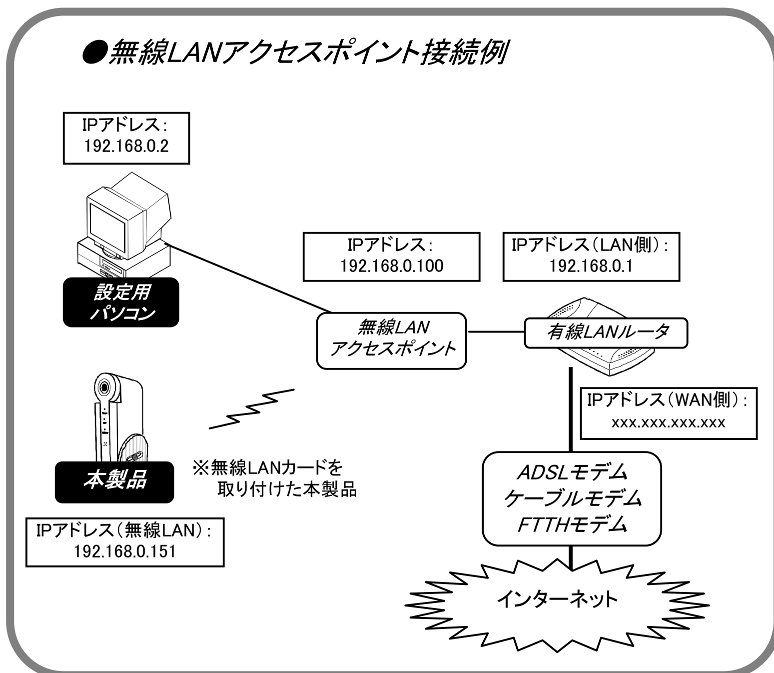


参考

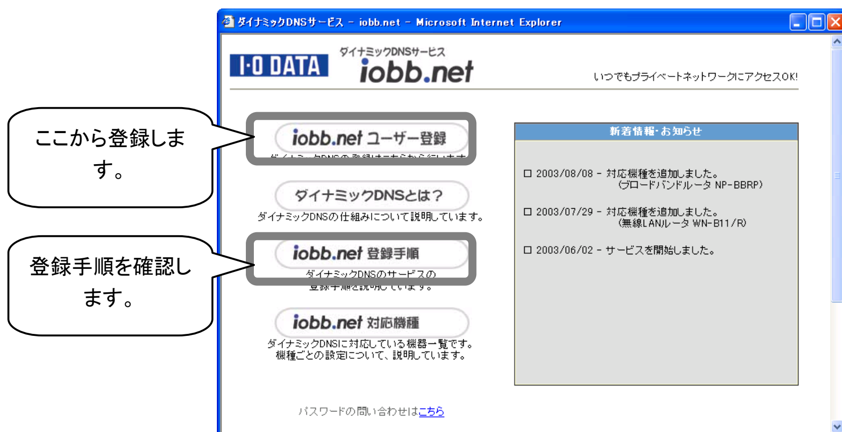
ルータに DNS リレー機能がついている場合は、DNS サーバにルータのアドレス（例では、192.168.0.1）を指定することが出来ます。



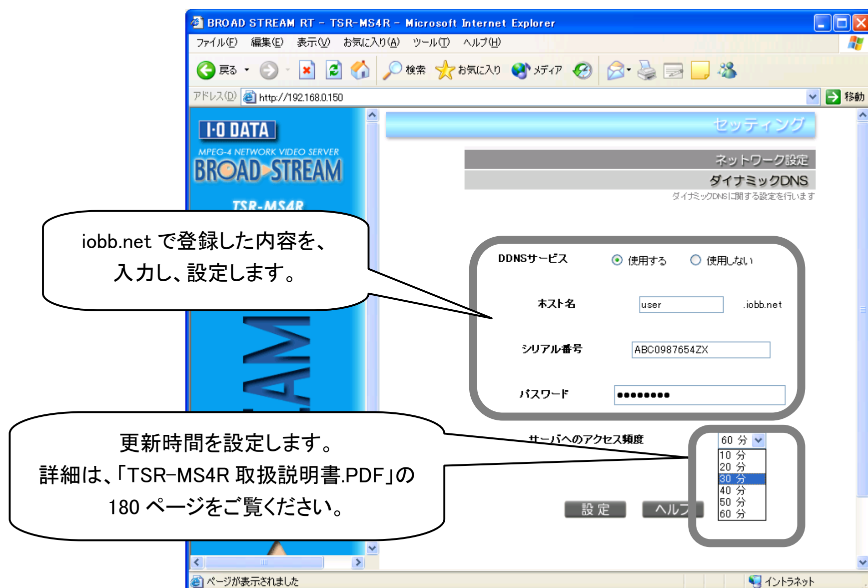
以下は、無線 LAN アクセスポイントに接続する際の接続例です。
無線 LAN アクセスポイントに接続する場合は、設定画面の[設定]→[ネットワーク設定]→[無線 LAN 設定]で、無線 LAN アクセスポイントと同じ[ESS-ID]と[WEP Key]を入力し、設定します。
また、IP アドレスはルータの IP アドレスクラス内で、内蔵 LAN とは異なる IP アドレスに設定してください。
※[内蔵 LAN 設定]と[無線 LAN]設定を同時に DHCP クライアントに設定することはできません。



5 弊社ダイナミックDNSサイト iobb.net「http://www.iobb.net/」にアクセスして、アカウント登録を行ってください。
登録手順については、「iobb.net登録手順」を確認してください。



6 設定画面の[セッティング]→[ネットワーク設定]→[ダイナミックDNS]を順にクリックし、ダイナミックDNSを設定します。



7 動画の設定を行います。
（ASFの場合・・・Windows Media Player 9で閲覧）
設定画面の［セッティング］→［MPEG-4 動画設定］→［ASF動画設定］を順にクリックします。

リアルタイム動画配信 ◉有効 ○無効

データレート	64k bps			
画質	○高	◉中	○低	
解像度	○CIF	◉QCIF	○SQCIF	
音声	◉G.726	○AMR(中)	○AMR(低)	○音声なし

接続するネットーワーク環境に合わせて、動画の設定を行います。

設定

［設定］ボタンをクリック

（RTPの場合・・・QuickTime Player・pvPlayerで閲覧）
設定画面の［セッティング］→［MPEG-4 動画設定］→［RTP動画設定］を順にクリックします。

動画データ設定

リアルタイム動画配信 ◉有効 ○無効

データレート	64 kbps		
画質	○高	◉中	○低
解像度	○CIF	◉QCIF	○SQCIF
音声	AMR（低）		
リフレッシュ周期	5 秒間隔		
最大フレームレート	15 フレーム		

接続するネットーワーク環境に合わせて、動画の設定を行います。

NAT/IPマスカレード機能対応

グローバルIP設定	◉有効	○無効
グローバルIPアドレス	user.iobb.net	

RTP 配信は、ルータ越えをする場合、本項目の設定が必要となります。
［グローバル IP 設定］を有効にし、グローバル IP アドレスに、先ほど登録した DDNS アドレスを、登録してください。

設定

［設定］ボタンをクリック

以上で本製品の設定は終了です。

設定③：ルータの設定

LAN接続した本製品の映像をインターネット上の他のパソコンから見るには、本製品をバーチャルサーバ（仮想サーバ）に設定しておく必要があります。
お使いのルータの取扱説明書で設定をご確認ください。
ここでは、弊社製ブロードバンドルータ「NP-BBRP」での設定（画面）例について説明します。

・*ASFをご利用になる場合(Windows Media Player 9)*

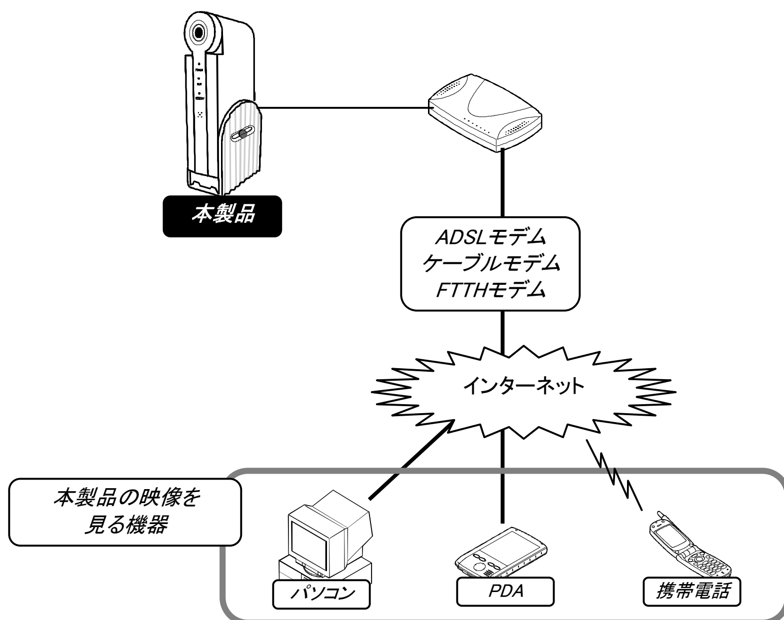
仮想サーバ(バーチャルサーバ)に本製品のIPアドレスを仮想サーバ(バーチャルサーバ)として登録し、TCP80番ポートのみ開放します。

・*RTPをご利用になる場合(QuickTime Player・pvPlayer)*

本製品をDMZとして登録し、すべてのポートを本製品に開放します。

設定④:映像を見る機器の設定

映像を見るパソコンやPDAあるいは携帯電話にもソフトウェアのインストールなどの設定が必要です。
設定の詳細は、57ページ以降を参照してください。



本製品の映像を見る機器側の設定	本製品の映像を見る設定 パソコンの場合　→ 57ページまたは73ページ参照 PDAの場合　→ 83ページ参照 携帯電話の場合　→ 89ページ参照

ブラウザやWindows Media Player 9で映像を見る

(Windows)

カメラの映像を見るには

Windowsパソコンから本製品の映像を見るには、以下のパソコン環境が必要です。



注意！

インターネット経由で接続を行う場合、本体側の回線は閲覧時に接続されている必要があります。ISDN や ADSL 等では、設定により切断されている場合がありますので注意が必要です。

項目	必要事項
対応OS	Windows XP（Service Pack 1 以降） Windows 2000（Service Pack 4 以降） Windows Me、Windows 98 Second Edition
ネットワークプロトコル	TCP/IPがインストールされ、適切にIPアドレスを設定している、もしくはDHCPサーバーから取得していること
Webブラウザ	Internet Explorer 6.0 SP1以降が必要
ソフトウェア	・Windows Media Player 9以降 → 次ページ【1. Media Playerをインストールする】参照
コーデックソフト	MPEG-4、G.726対応のコーデックソフト GSM-AMR対応のコーデックソフト → 60ページ【2. コーデックソフトをインストールする】参照
Webブラウザのセキュリティ設定	ActiveX、JavaScriptを有効に設定されていること → 64ページ【3. Webブラウザのセキュリティを設定する】参照

1. Media Playerをインストールする

本製品の映像を見るには、パソコンのWindows Media Player 9以降がインストールされている必要があります。
インストールされていない場合は、以下の手順でインストールしてください。

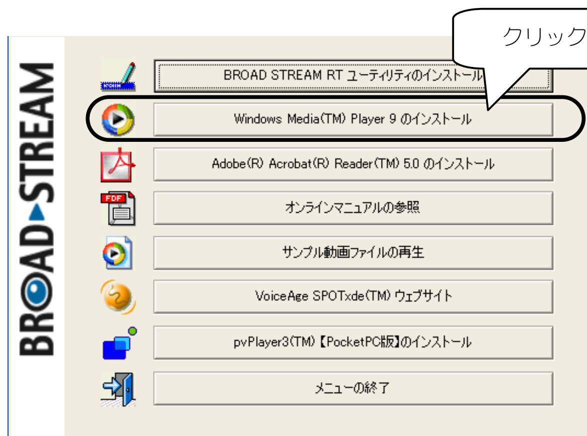
1 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

→ 自動的にメニュー画面が表示されます。


参考

メニュー画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]内の[Setup.exe]アイコンをダブルクリックしてください。

2 画面の[Windows Media(TM) Player 9のインストール]をクリックします。



後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

2. コーデックソフトをインストールする

本製品の映像を見るには、パソコンに以下のコーデックソフトがインストールされている必要があります。

・MPEG-4、G.726対応のコーデックソフト
・GSM-AMR対応のコーデックソフト



注意！

Windows XP および Windows 2000 環境では、コーデックのダウンロード、インストールの作業は、コンピュータの管理者のアカウントおよび Administrator 権限で行なってください。



参考

・MPEG-4、G.726 対応のコーデックソフトについて

本製品から配信される MPEG-4（動画圧縮）、G.726（音声圧縮）形式のデータを Windows Media Player で再生するには、これらに対応したコーデック（圧縮／伸張）ソフトが別途、必要となります。
あらかじめ、お使いのパソコンがインターネットに接続された環境で、本製品付属のセットアップ CD-ROM に入った"SAMPLE.ASF"ファイルを Windows Media Player で再生すると、自動的にコーデックはインストールされます。

・GSM-AMR 対応のコーデックソフトについて

本製品では、音声圧縮として GSM-AMR をサポートしておりますが、GSM-AMR 形式のデータを Windows Media Player 9 で再生するために必要なコーデックソフトは別途、インターネットからダウンロードし、インストールする必要があります。

MPEG-4、G.726対応のコーデックソフトのインストール

1 パソコンの以下の設定を確認します。

・インターネットに接続できていること

・Windows Media Player 9以降がインストールされていること

2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

→ 自動的にメニュー画面が表示されます。



参考

メニュー画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]内の[Setup.exe]アイコンをダブルクリックしてください。

3 画面の[サンプル動画ファイルの再生]をクリックし、Windows Media Playerで再生します。



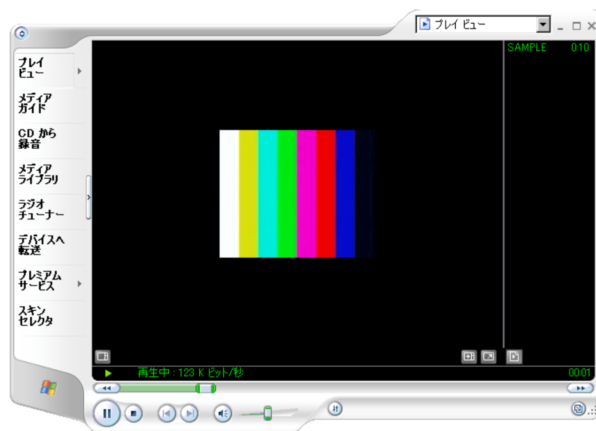
4 自動的にMicrosoft CorporationのWebサイトに接続され、必要なコーデックソフト※がダウンロードされ、インストールされます。

※MPEG-4、G.726形式のデータをWindows Media Player 9で再生するのに必要なコーデックソフト

5 以下の画面が表示された場合は、すべて[はい]ボタンをクリックします。



6 Windows Media Playerで再生が行われます。



再生が終了すればインストールは終了です。

GSM-AMR対応のコーデックソフトのインストール

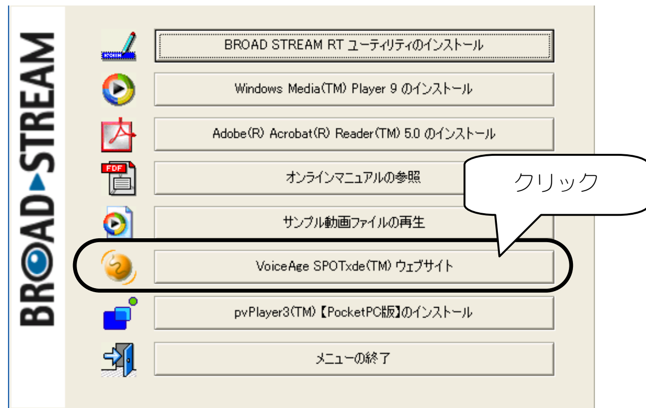
1 パソコンの以下の設定を確認します。
・インターネットに接続できていること
・Windows Media Player 9がインストールされていること

2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
→ 自動的にメニュー画面が表示されます。


参考

メニュー画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]内の[Setup.exe]アイコンをダブルクリックしてください。

3 画面の[VoiceAge SPOTxDEウェブサイト]ボタンをクリックします。
VoiceAge Corporationのウェブサイトに接続します。



4 GSM-AMR対応のプレイヤー（[SPOTxde™ Player]）をインストールします。
※インストール方法につきましては、SPOTxDE Playerに付属のドキュメントをご参照ください。
※[SPOTxde™ Player]は、VoiceAge社提供の無料のWindows Media Playerに対応したGSM-AMRコーデックのデコーダプラグインが同梱されています。

以上でインストールは終了です。

3. Webブラウザのセキュリティを設定する

本製品の映像を見るには、パソコンのWebブラウザのセキュリティを設定しておく必要があります。


参考

ブラウザにおける JavaScript および ActiveX の設定について

次ページ以降の手順で、これらを「有効」にすることで、Windows Media Player 9 と連動し、ブラウザだけでは不可能な動画表示機能を実現します。
ご使用になられるブラウザにおいて、「JavaScript」と「ActiveX」の 2 つの機能を以下の手順にしたがって、有効にしてください。




注意！

Web ブラウザは、InternetExplorer 6.0 SP1 以降が必要です。バージョンをご確認ください。
なお、本製品に Web ブラウザは添付しておりません。
Web ブラウザがない、あるいは Web ブラウザのバージョンが古い場合は、正常に設定できませんので、必要なバージョン以降をご用意ください。

Internet Explorerの設定



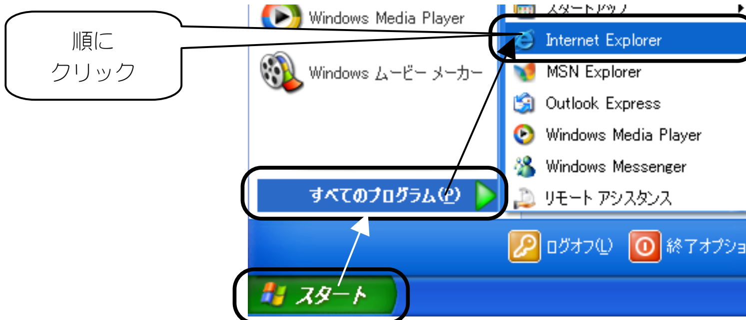
注意！

プロバイダによっては、プロキシについての設定を指示している場合があります。まず、プロバイダから入手した資料をご用意ください。

1 [Internet Explorer]画面を表示させます。

・Windows XPの場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→[Internet Explorer]（または[インターネット Internet Explorer]）をクリックします。



・Windows 2000、Windows Me/98 SEの場合

デスクトップ画面上の[Internet Explorer]アイコンをダブルクリックします。

ダブルクリック





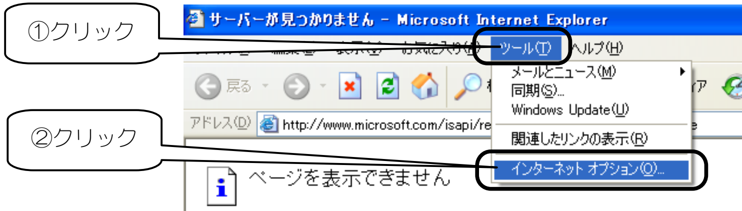
注意！

この時点でインターネットに接続されていない場合は、「ページを表示できません」など正常に画面が表示されませんが、ここでは Internet Explorer 自体の設定を行うため、この時点で正常に画面が表示されていなくても問題ありません。

Internet Explorerの設定(つづき)

2 [Internet Explorer]画面の[ツール]メニューの[インターネット オプション]をクリックします。

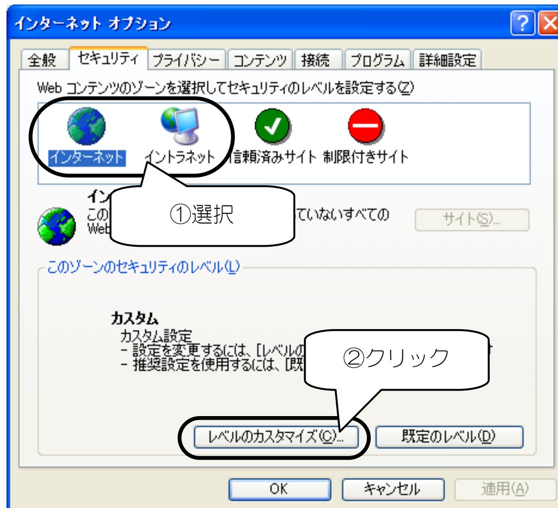
※本手順以降、画面は[Internet Explorer 6.0 SP1]を例にしています。



3 メニューの中から[セキュリティ]をクリックし、お使いの環境に応じて以下を選択します。

インターネットに接続している環境 →[インターネット]
イントラネット環境 →[イントラネット]

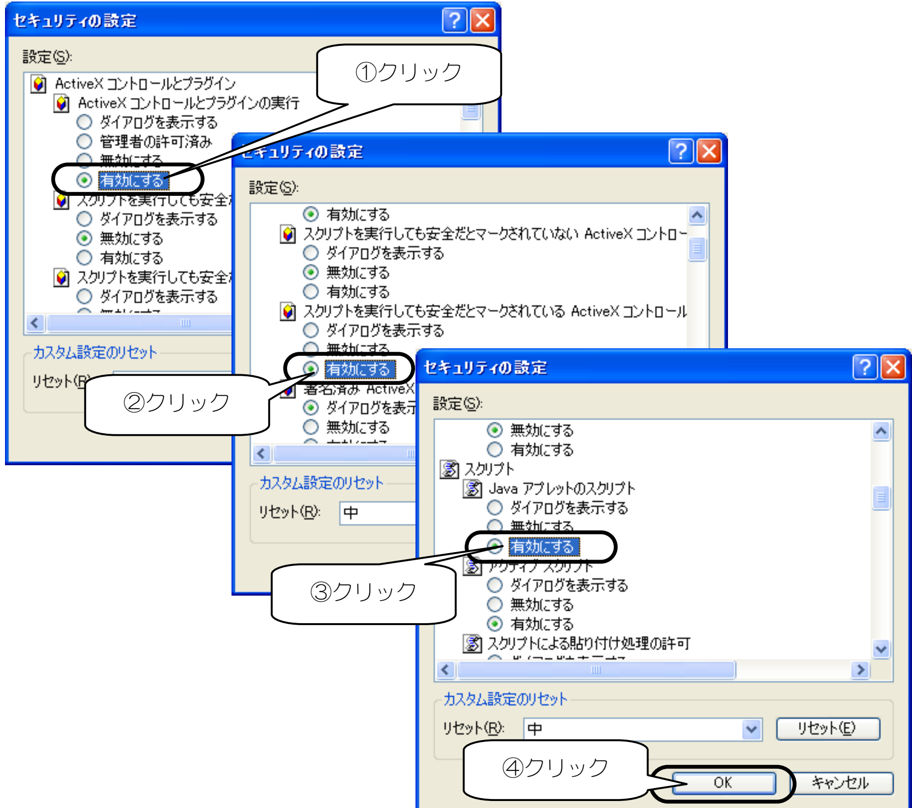
選択後、[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。



Internet Explorerの設定（つづき）

4 次の①～③の項目を有効に設定し、[OK]ボタンをクリックします。

①「ActiveXコントロールとプラグインの実行」
②「スクリプトを実行しても安全だとマークされている…」
③「Javaアプレットのスクリプト」



5 [インターネットオプション]（または[インターネットのオプション]）画面へ戻りますので、[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

設定後、次ページへお進みください。

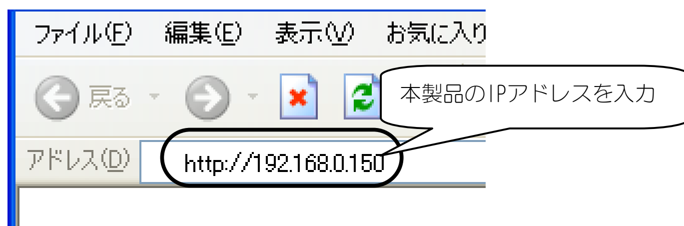
4. カメラの映像を見る

カメラの映像は本製品のWeb設定画面の[リアルタイム動画]で見ることができます。

1 Webブラウザを起動し、あらかじめ設定した本製品のIPアドレス

(出荷時の場合:192.168.0.150)

を入力し、[Enter]キーを押します。



●入力するIPアドレスについて

ご使用環境に応じて、以下のIPアドレスを入力してください。

LANでの使用(同一サブネットマスク内)の場合	[内蔵LAN設定](例:192.168.0.150)のIPアドレスを入力します。
インターネット側から直接接続する場合	[内蔵LAN設定]のグローバルIPアドレスを入力します。
インターネット側からルータを介して接続する場合	ルータのバーチャルサーバ設定を行った上で、ルータのグローバルIPアドレス、またはURLを入力します。
PHSダイヤルアップ接続の場合	PPP受信IPアドレスに設定したIPアドレスを入力します。



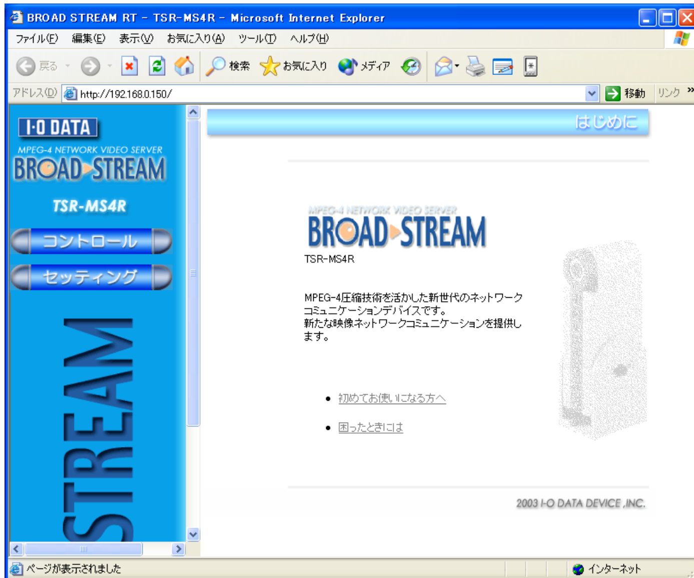
参考

インターネット経由で本製品に接続する場合(45 ページ【構成例②】)、アクセスする本製品のアドレスは以下の例のようになります。

例)　http://(user).iobb.net/

(user はダイナミック DNS サービス iobb.net に登録したホスト名:ダイナミック DNS サービス利用時)

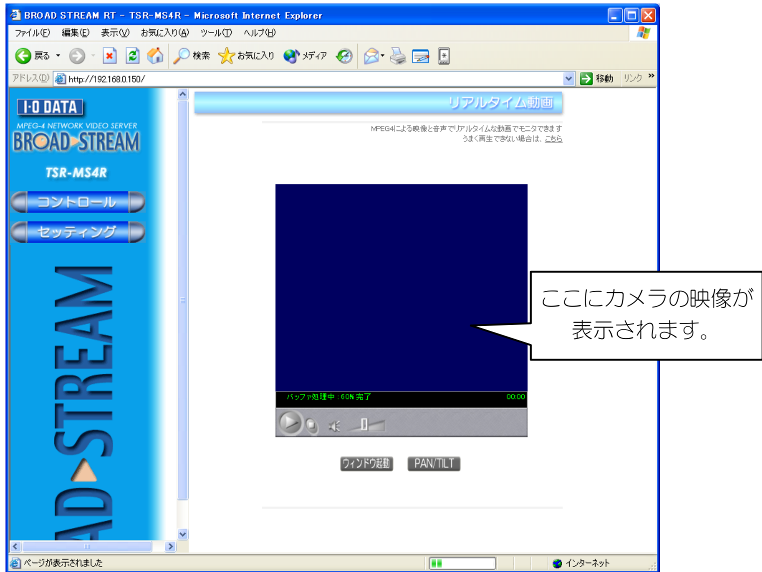
2 本製品の画面（TOPページ）が表示されます。



画面が表示されない！	⇒	パソコンの IP アドレスを確認してください。 →前ページ参照
		Web ブラウザの設定を確認してください。 →【2. Web ブラウザのセキュリティを設定する】（64 ページ）

3 [コントロール]→
[リアルタイム動画]ボタン
をクリックします。
しばらくしてカメラの映像
が表示されます。





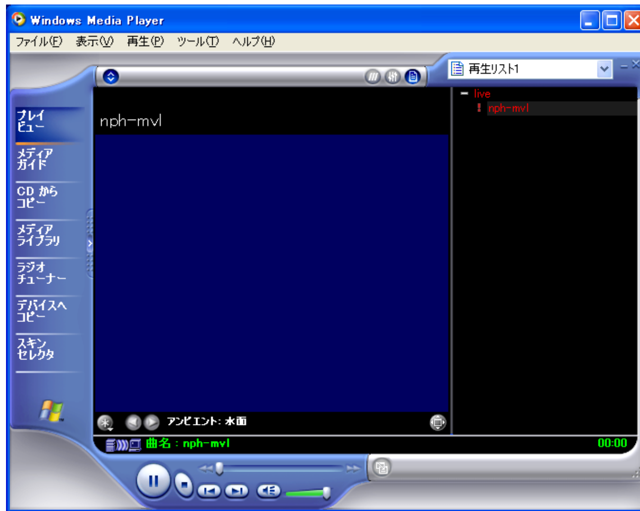
項目	内容
[ウィンドウ起動] ボタン	表示されている映像をWindows Media Player単体で見ることができます。（次ページ参照）
[PAN/TILT] ボタン	デジタルPTZ操作ウィンドウを表示します。（次ページ参照） 本画面表示時は自動表示されます。



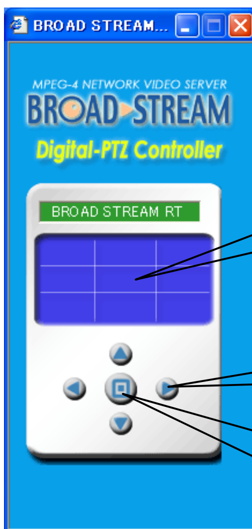
注意！

Windows Media Player の仕様により、設定したビットレートにより2～4秒映像が遅延します。（Windows Media Player 側でストリーム映像をバッファリングするためです。）

▼Windows Media Player



▼デジタル PTZ 操作ウィンドウ



エリア選択パネル
表示可能エリアを示します。
表示位置をエリア別にダイレクトに選択できます。

PAN/TILT操作ボタン
表示位置を、細かく指定できます。

ZOOM/WIDE操作ボタン
表示サイズを、ZOOMモードとWIDEモードの切替を行います。
尚、WIDEモード時は、エリア全体を表示するため、PAN/TILT操作は行えません。

MEMO

QuickTimeで 映像を見る

（Windows ＆ Macintosh）

カメラの映像を見るには

QuickTimeで本製品の映像を見るには、以下のパソコン環境が必要です。



注意！

インターネット経由で接続を行う場合、本体側の回線は閲覧時に接続されている必要があります。ISDN や ADSL 等では、設定により切断されている場合がありますので注意が必要です。

・*QuickTimeで必要なパソコンおよびプレイヤ環境*

項目	必要事項
対応OS	Windows XP（Service Pack 1 以降） Windows 2000（Service Pack 4 以降） Windows Me、Windows 98 SE Mac OS Ｘ 10.2 以降
ネットワークプロトコル	TCP/IPがインストールされ、適切にIPアドレスを設定している、もしくはDHCPサーバーから取得していること
ソフトウェア	・QuickTime 6.3+3GPPコンポーネント、または、6.4 → アップル社のホームページよりダウンロードしてください。 http://www.apple.co.jp/quicktime/

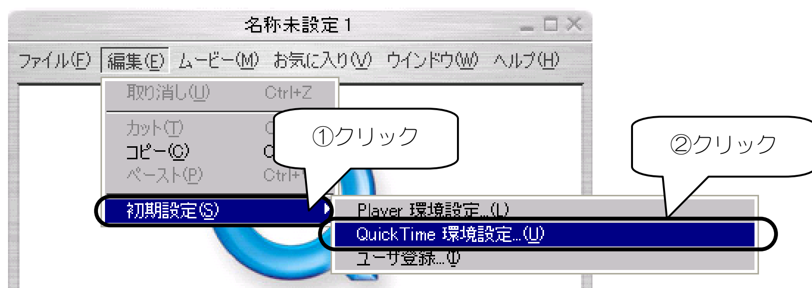
QuickTime Playerを設定する

QuickTimeがインストールされていない場合は、インストールを実行してください。

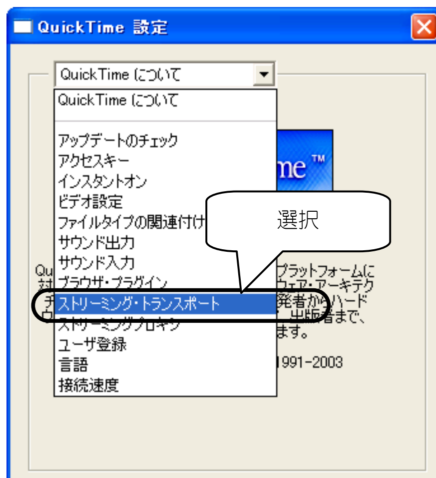
Windows版の場合

1 QuickTimeを起動します。

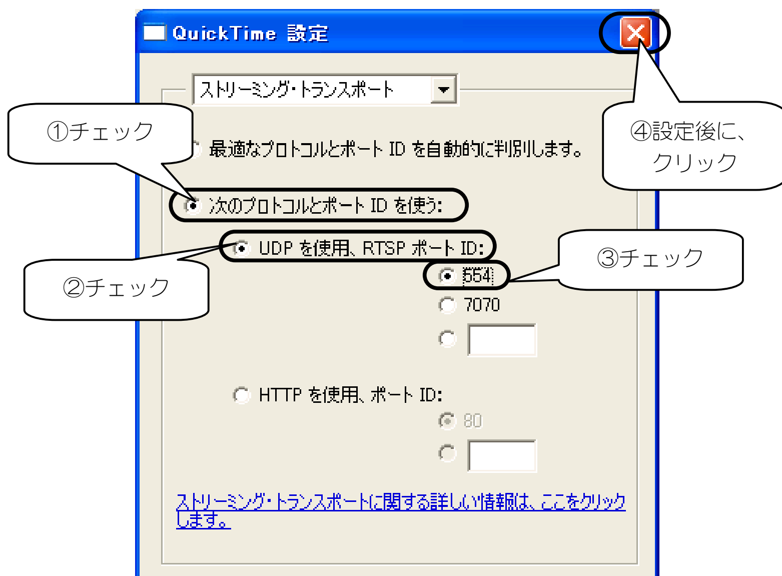
2 QuickTimeプレイヤの環境設定を行います。
メニューの[編集]-[初期設定]-[QuickTime 環境設定]をクリックします。



3 ストリーミング・トランスポートの設定を行います。
プルダウンメニューから「ストリーミング・トランスポート」を選択します。



4 「次のプロトコルとポートIDを使う」をチェックし、「UDPを使用、RTSPポートID」で「554」をチェックし、ウィンドウを閉じます。



以上で、閲覧の準備は完了です。ここまでの設定は、1度だけ行います。

引き続き次の手順で、映像を見ます。(79ページ)

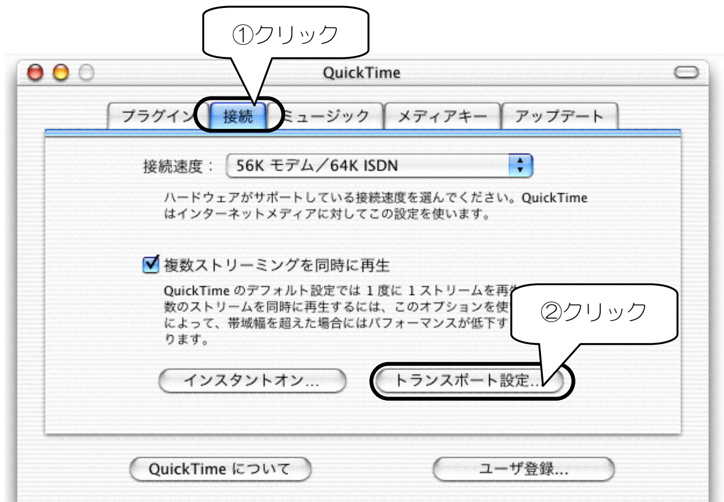
Mac OS X版の場合

1 QuickTimeを起動します。

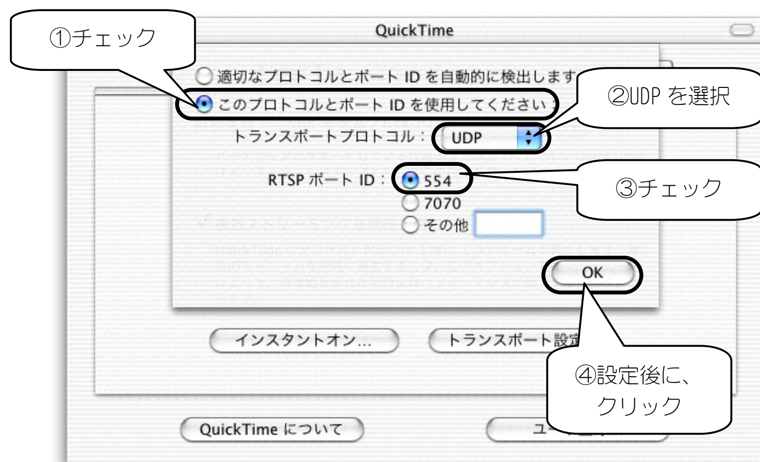
2 QuickTimeプレイヤの環境設定を行います。
メニューの[QuickTime Player]−[環境設定]−[QuickTime 環境設定]をクリックします。



3 ストリーミング・トランスポートの設定を行います。
「接続」タブをクリックし、「トランスポート設定」をクリックします。



4 「このプロトコルとポートIDを使用してください」をチェックし、トランスポートプロトコルで「UDP」を選択し、「RTSPポートID」で「554」をチェックし、「OK」をクリック後、設定を終了します。



以上で、閲覧の準備は完了です。ここまでの設定は、1度だけ行います。

引き続き次の手順で、映像を見ます。（次ページ）

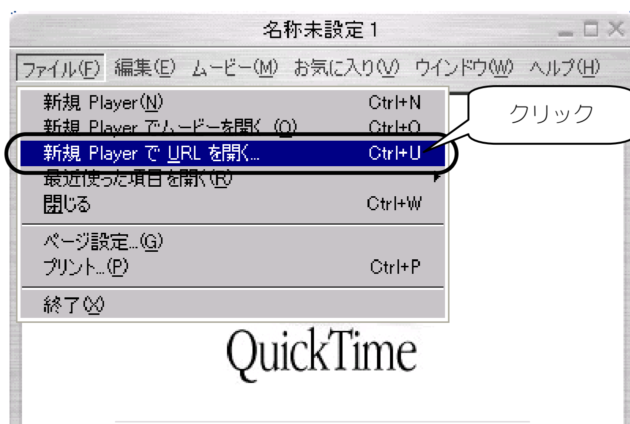
カメラの映像を見る

QuickTime Playerで本製品の映像を見ることができます。

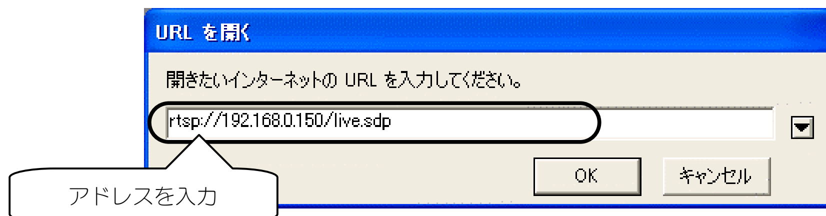
Windows版の場合

1 QuickTimeを起動します。

2 メニューの[ファイル]−[新規PlayerでURLを開く]をクリックします。



3 URLに、「rtsp://カメラのアドレス/live.sdp」を入力します。




参考

インターネット経由で本製品に接続する場合（45 ページ【構成例②】）、アクセスする本製品のアドレスは以下の例のようになります。

例）　rtsp://(user).iobb.net/live.sdp

（user はダイナミック DNS サービス iobb.net に登録したホスト名：ダイナミック DNS サービス利用時）

4 ウィンドウが、開きカメラの映像が表示されます。



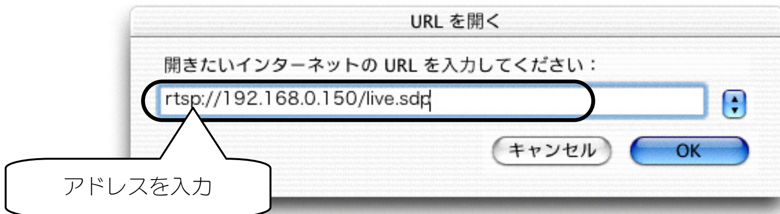
Mac OS X版の場合

1 QuickTimeを起動します。

2 メニューの[ファイル]-[新規PlayerでURLを開く]をクリックします。



3 URLに、「rtsp://カメラのアドレス/live.sdp」を入力します。





参考

インターネット経由で本製品に接続する場合（45 ページ【構成例②】）、アクセスする本製品のアドレスは以下の例のようになります。

例）　rtsp://(user).iobb.net/live.sdp

（user はダイナミック DNS サービス iobb.net に登録したホスト名：ダイナミック DNS サービス利用時）

4 ウィンドウが開き、カメラの映像が表示されます。



pvPlayer3で映像を見る

（Pocket PC 2002）

カメラの映像を見るには

PocketPCで本製品の映像を見るには、以下の環境が必要です。



注意！

インターネット経由で接続を行う場合、本体側の回線は閲覧時に接続されている必要があります。ISDN や ADSL 等では、設定により切断されている場合がありますので注意が必要です。

・PocketPCで必要な環境

対応機種	カシオ　Cassiopeia E-700/E-750/E-2000 HP Jornada 548/525/568 コンパック　3630/3660(PPC2002アップグレード版) 東芝　Genio e 550(PPC2002アップグレード版) NEC PocketGear(MC/PG5000)
対応OS	Windows CE Pocket PC 2002
ネットワークプロトコル	適切にIPアドレスを設定している、もしくはDHCPサーバーから取得していること
ソフトウェア	pvPlayer3.0※

※　pvPlayer3をインストールするには、ホストとなるWindowsがインストールされたパソコンが必要です。
また、あらかじめホストPCとゲストとなるPDAの間で、Active Syncが利用できる環境であることを、確認してください。
Active Syncのインストールや設定方法は、各PDAメーカーにお問い合わせください。

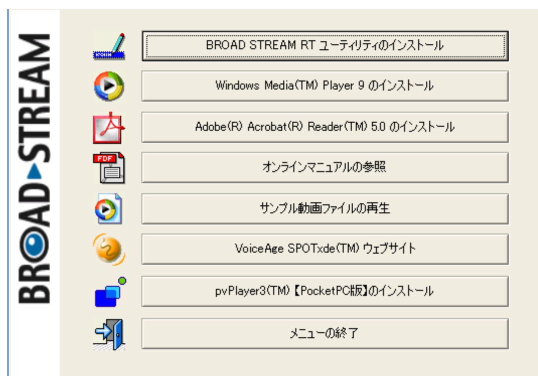


参考

その他最新の対応 PDA については弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご確認ください。

pvPlayer3のインストール

1 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
→ 自動的にメニュー画面が表示されます。



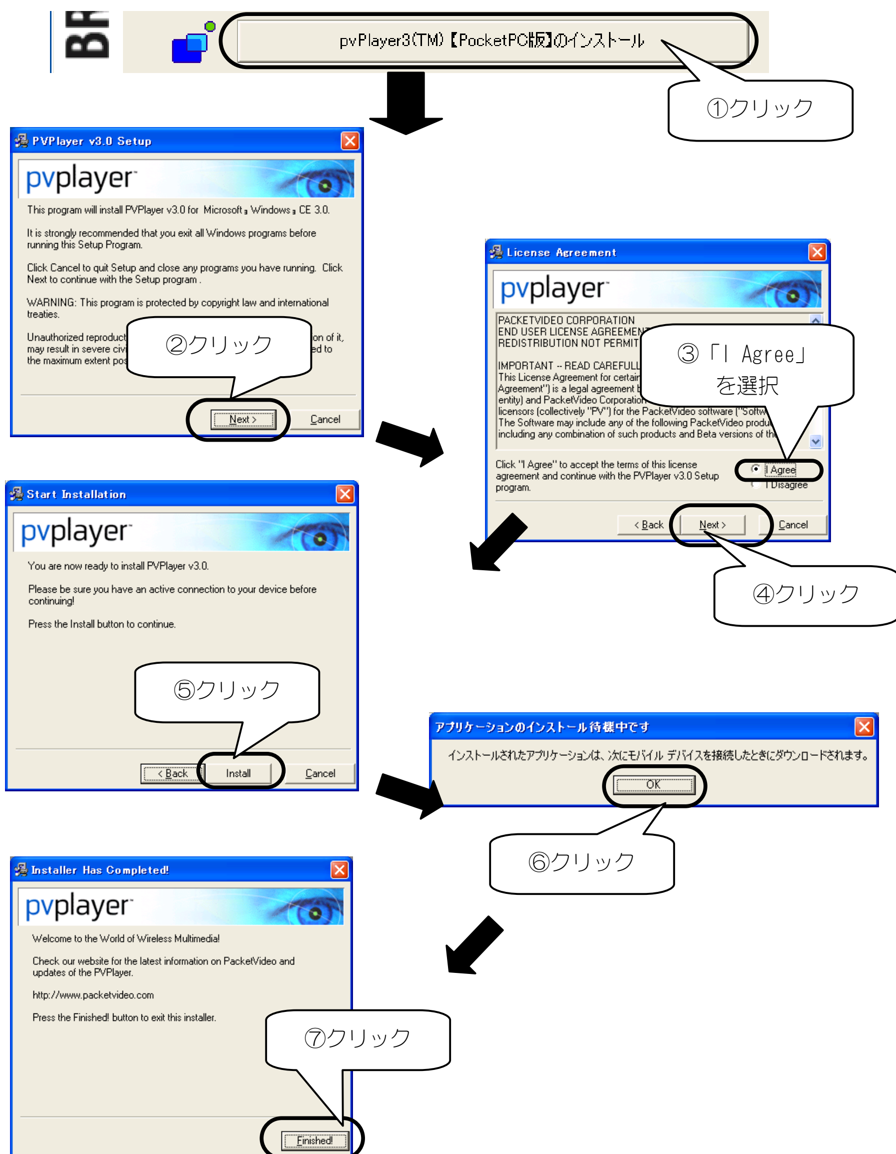
［CDメニュー］



参考

メニュー画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[CD-ROM]内の[Setup.exe]アイコンをダブルクリックしてください。

2 画面の「pvPlayer3(TM)【PocketPC版】のインストール」をクリックします。後は、画面の指示に従ってインストールしてください。



以上でWindowsへのインストールは終了です。パソコンとPDAのSyncを実行してください。自動的にPocketPCへpvPlayer3がインストールされます。

カメラの映像を見る

PocketPC本製品の映像を見ることができます。



注意！

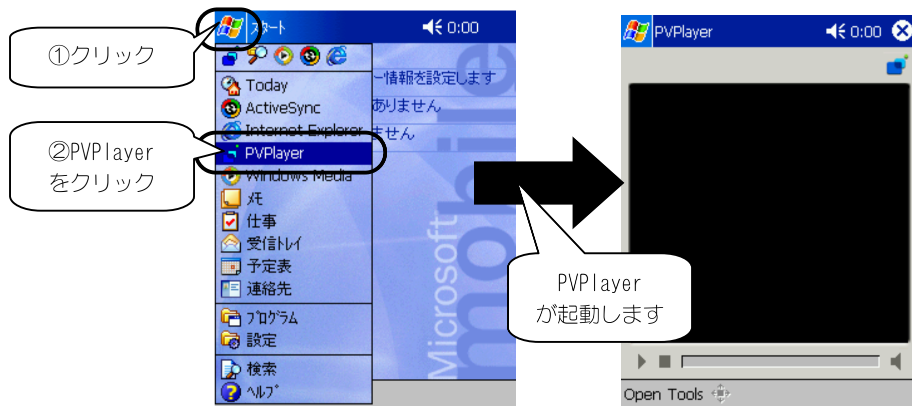
本製品の RTP 動画設定を以下の解像度に設定してからご覧ください。

解像度：QCIF または SQCIF

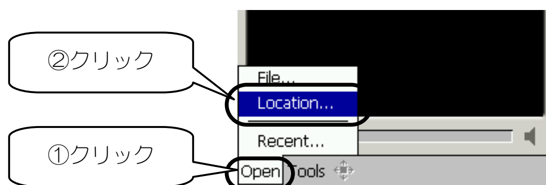
最大フレームレート：5または 7.5 フレーム

※PDA によってはフレームレートあるいは画質を下げてお使いください。

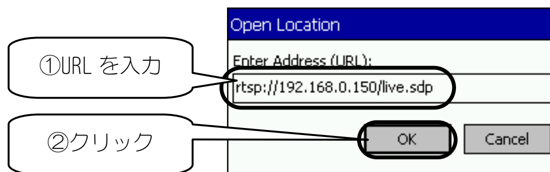
1 ネットワークへ接続できる状態で、pvPlayer3を起動します。



2 メニューの[Open]-[Location]を、タップします。



3 URLに、「rtsp://カメラのアドレス/live.sdp」を入力します。





参考

インターネット経由で本製品に接続する場合（45 ページ【構成例②】）、アクセスする本製品のアドレスは以下の例のようになります。

例）　rtsp://(user).iobb.net/live.sdp

（user はダイナミック DNS サービス iobb.net に登録したホスト名：ダイナミック DNS サービス利用時）

4 カメラの映像が表示されます。



携帯電話から映像を見る

カメラの映像を見るには

携帯電話から本製品の映像を見るには、以下の環境が必要です。



・インターネット経由で接続を行う場合、本体側の回線は閲覧時に接続されている必要があります。ISDN や ADSL 等では、設定により切断されている場合がありますので注意が必要です。
・携帯電話との接続には、ダイナミック DNS の設定が必要です。
・携帯電話から見る映像は、動画ではなく、静止画自動更新による擬似動画です。

・*携帯電話で必要な環境*

対応機種	i アプリ対応（DoJa2.0 対応）NTT ドコモ製携帯電話 i-mode 504i シリーズ、505i シリーズ FOMA 2051 シリーズ、2701 シリーズ、2102 シリーズ



その他最新の対応携帯電話については弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご確認ください。

iアプリをダウンロードする

本製品に携帯電話から接続し、iアプリを携帯電話にダウンロードします。

1 携帯電話で、「http://カメラのアドレス/i/」を、入力します。



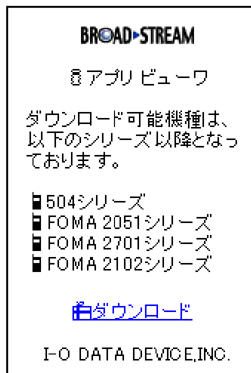
参考

インターネット経由で本製品に接続する場合（45 ページ【構成例②】）、アクセスする本製品のアドレスは以下の例のようになります。

例）　http://(user).iobb.net/i/

（user はダイナミック DNS サービス iobb.net に登録したホスト名：ダイナミック DNS サービス利用時）

2 ダウンロード画面が表示されますので、画面に従いダウンロードを実行します。



カメラの映像を見る



注意！

本製品の静止画設定を以下の解像度に設定してからご覧ください。

解像度：QCIF の場合→　画質：低

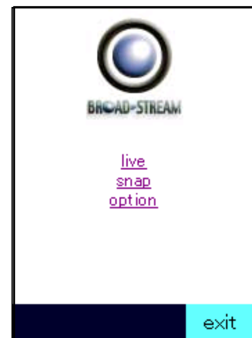
解像度：SQICF の場合→　高、中、低

※写す映像によっては、圧縮率が低い場合があります。

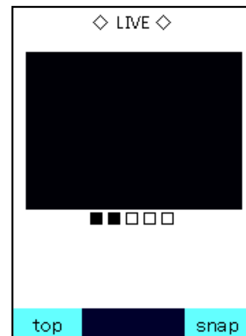
その際は、i モード網の制約により、画像が通らず i アプリ側で映像がなかなか表示されなくなります。

1 各携帯電話の操作に従い、ダウンロードしたiアプリを起動します。「BROAD　STREAM2」を選択し、実行してください。

2 トップメニューが表示されます。
映像を見る場合は、liveを選択します。



3 本製品からの映像が表示されます。
画像は自動的に更新されます。

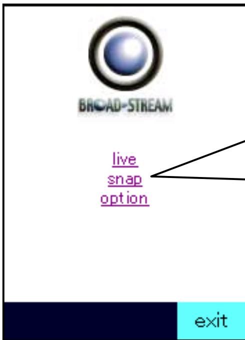


4 終了するときは、topボタンで、topメニューに戻り、exitボタンを押してください。

画像更新は、30秒で終了します。（初期設定）

iアプリビューワの使い方

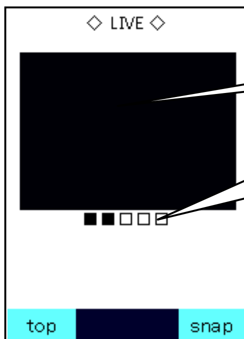
トップページ



live	LIVE画面に移動します。リアルタイムが画像を確認できます。
snap	LIVE画面に記録した画像(静止画)を、閲覧できます。
option	iアプリビューワの動作を設定します。

[exit]ボタン	iアプリビューワを終了します。

LIVE画面



表示ウィンドウ	現在のリアルタイムな画像が表示されます。

保存枚数メーター	保存済みのSNAP画像の枚数を表します。 (最大5枚まで保存可能)

[top]ボタン	トップページに戻ります。

[snap]ボタン	表示されている現在の画面を携帯電話に記録します。

SNAP画面



動画表示ウィンドウ	携帯電話に記録された画像が表示されます。

SNAP画像を、順番に表示します。

back	前の画像に移動します。
next	先の画像に移動します。

[top]ボタン	トップページに戻ります。

[del]ボタン	表示されている現在の画像を携帯電話から削除します。

オプション画面

リクエスト:
500 ミリ秒毎
自動切断:
30 秒
切断確認:
する
top save

リクエスト　携帯電話から、本製品に対して、画像の更新要求を行う間隔を設定します。
(500～2000:初期値:500ミリ秒毎)
※通常、回線スピードにより、画像更新は、設定の時間よりも長くかかります。

自動切断　画像表示のタイムアウト時間を設定します。
(10～60:初期値:30秒)
※長時間に設定すると、自動的に画像を取得するため、予期しないパケット代がかかる恐れがあります。ご注意ください。

切断確認　回線切断時に確認画面を表示する・しないの設定を行います。
(初期値:する)

expired time
設定された時間が経過しました
Liveを終了させますか？
はい いいえ

[top]ボタン	トップページに戻ります。
[save]ボタン	設定の内容を保存します。

付録

付録1　困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ News など

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新 サポートソフト

CD-ROM内[Manual]フォルダ内の「TSR-MS4R取扱説明書.PDF」を参照してください。

●「IPアドレス設定ユーティリティ」設定時のトラブル

<table>
<tr><th>状態</th><th>PDF 参照ページ</th></tr>
<tr><td>「ソケットの初期化に失敗しました。エラー番号：10013」が表示される</td><td rowspan="6">130</td></tr>
<tr><td>「送信に失敗しました。エラー番号：10065」が表示される</td></tr>
<tr><td>ネットワークに接続している本製品が検出できない</td></tr>
<tr><td>Web ブラウザの起動がおこなえない</td></tr>
<tr><td>「サブネットマスクが無効です」が表示される</td></tr>
<tr><td>「カメラタイトルに、2 バイト文字、空白文字、および以下の文字を使用することができません。”&’*/<->?¥|」が表示される</td></tr>
<tr><td>ユーザー認証に失敗する</td><td rowspan="3">131</td></tr>
<tr><td>設定を行なった後、該当する本製品が一覧に表示されなくなった</td></tr>
<tr><td>【カメラサーバー情報の編集】ができない</td></tr>
</table>

●「IPアドレス設定ユーティリティ」エラーメッセージ

状態およびエラーメッセージ	PDF 参照ページ
このプログラムは、管理者権限が」必要です。 管理者権限のあるユーザーで再度実行してください	132
1 つは必ず選択してください	
X:¥vc6_update¥vcredist.exeの実行に失敗しました （X は CD ドライブ）	
X:¥wmfsdk_update¥WMFDist.exeの実行に失敗しました （X は CD ドライブ）	
セットアップは完了していません。ここでセットアッププログラムを中止するとユーティリティの動作保証はできません 〈はい〉を選択するとインストールを中止します（ご使用の前に、セットアップを行なってください） 〈いいえ〉を選択するとインストールを続行します	
共有ファイルはTSR-MS4ユーティリティ以外のアプリケーションでは必要としません ファイルを削除する場合は〈はい〉を選択してください	133
サポートファイルを解凍中にエラーが発生しました アクセスが拒否されました	
【自己登録エラー】 1 以上のファイルを自己登録しませんでした	

●設定時のトラブル

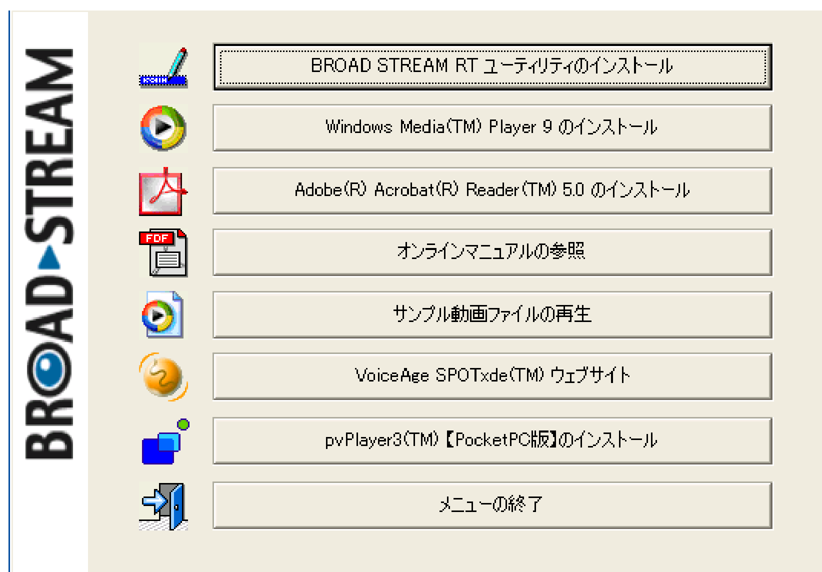
付録2　添付CD-ROMについて

ここでは、添付のCD-ROMについて説明します。

※添付のCD-ROMはWindows用です。

CD-ROMの内容一覧

添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、以下のメニューが表示されます。



メニューボタン	詳細
①BROAD STREAM RTユーティリティのインストール	BROAD STREAM RTユーティリティ（IPアドレス設定ユーティリティ）のインストールおよびアンインストールを行ないます。
②Windows Media（TM） Player 9のインストール	Windows Media（TM） Player 9のインストールを行ないます。
③Adobe（R）Acrobat（R） Reader（TM） 5.0のインストール	Adobe（R）Acrobat（R） Reader（TM） 5.0のインストールを行ないます。
④オンラインマニュアルの参照	オンラインマニュアルを参照できます。 オンラインマニュアルはPDFファイル形式のため、「Adobe（R）Acrobat（R）Reader（TM）5.0」をインストールしてください。
⑤サンプル動画ファイルの再生	MPEG-4、G.726対応のコーデックソフトをインストールするための再生用ファイルです。
⑥VoiceAge SPOTxde（TM）ウェブサイト	GSM-AMR対応のコーデックソフトをインストールするために「VoiceAge SPOTxde（TM）ウェブサイト」に接続します。
⑦pvPlayer3(TM)【PocketPC版】のインストール	pvPlayer3(TM)【PocketPC版】のインストールを行ないます。
⑧メニューの終了	本メニュー画面を終了します。

付録3　本製品を初期設定に戻す

本製品背面の[全初期化]ボタンで本製品を初期設定に戻す手順について説明します。



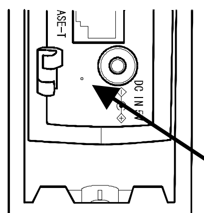
注意！

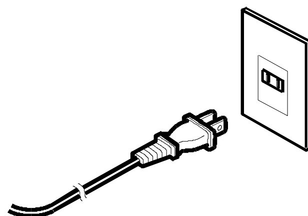
以下の手順を行うと、変更した設定内容は、すべて初期設定（出荷時設定）となります。設定画面で最初からすべて設定し直してください。

1. 本製品を使っていないことを確認します。

2. 本製品からLANケーブルを取り外し、本製品の電源ケーブルをコンセントから取り外します。

3. 本製品背面の[全初期化]ボタンの穴に、クリップ等の先の細いもので内部のボタンを押しながら、電源ケーブルをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。





4. クリップを放します。

5. 初期設定され、約90秒後に起動します。

以上で本製品を初期設定に戻す設定は終了です。
再度最初から本製品を設定し直してください。

付録4　仕様

本体仕様

項目		仕様	備考
モデル名		TSR-MS4R(BROAD STREAM)	
圧縮方式	動画	MPEG-4 Simple Profile Level1 (ASFおよびRTP)	
	静止画	JPEG	
	音声	G.726 32kbps、GSM-AMR 4.75kbps,6.7kbps,12kbps	
解像度		CIF(352×268)、QCIF(176×144)、 SubQCIF(128×96)	
フレームレート		最大30fps	*1
配信データレート		ASF配信時 32k,64k,96k,128k,144k,192k,256k, 384k,512k,768kbps RTP配信時 32k,50k,52k,64k,128k,256kbps	
保存ファイル形式		Microsoft Advanced System Format(ASF)	
対応プロトコル		HTTP、FTP、SMTP、RTP、DDNS	
ネットワーク機能		Webサーバー、FTPサーバー、PPP 発着信、DHCPクライアント	
配信セッション数		最大同時5セッション	設定により変更 可能

項目		仕様	備考
内部入力デバイス	映像	CMOSセンサーカメラモジュール×1	
	音声	モノラルマイクモジュール×1	
外部映像入力	映像入力	NTSC方式	75Ω/1Vp-p
	コネクタ	RCAコネクタ×1	
外部音声入力	音声入力	モノラルラインマイク入力	
	コネクタ	φ3.5mmピンジャック×1	RCA変換アダプタ添付
内蔵LAN	通信方式	Ethernet 10BASE-T	
	コネクタ	RJ45コネクタ×1	
外部拡張		CF+™ Type Ⅱ 準拠スロット×1	*2
外部スイッチ		全初期化ボタン×1	
LED表示	電源確認用	緑色LED×1	POWERランプ
	配信確認用	赤／緑／オレンジ色LED×1	RUNランプ
	記録確認用	赤／緑／オレンジ色LED×1	MEMORYランプ
	CF確認用	緑色LED×1	
	LAN確認用	緑色LED×2	LINKランプ/ACTランプ
電源入力		AC100V（50/60Hz）	専用ACアダプター使用
消費電力		最大10W	DC5V/2A（本体のみ）
外形寸法		約180(H)×約50(W)×約70(D)(mm)	突起物を除く、本体のみ
製品重量		約390g	本体のみ
使用環境温度		0～40℃	屋外での利用は動作保証外
使用環境湿度		20～80%	結露しないこと
対応規格		VCCI ClassB	

**1:フレームレートは、ネットワーク環境やパソコンの設定で変わります。*
**2:使用できるCFカードに関しては、弊社指定のCFカードに限ります。弊社指定以外のCFカードをご使用になられますと、CFカードを破損することもありますので、ご注意ください。*

内部カメラ仕様

項目	仕様	備考
撮像素子	1/4インチCMOSセンサー	
有効画素数	VGAサイズ（640×480画素）	約30万画素
画角	水平54.6度、垂直42.4度	
レンズFNo.	F2.6	
焦点	固定焦点	
フォーカス範囲	50cm～∞	
ホワイトバランス	オート	
最低対応照度	約10Lux	*3

*3：被写体の環境が暗い場合、画像にノイズが目立つようになります。
全ての仕様は、予告無く変更されることがあります。

扱える画像データの種類

配信フォーマット	Microsoft Advanced Streaming Format（ASF形式） Real Time Protocol（RTP形式）
解像度	CIF（352×288）、QCIF（174×144）、SQCIF（128×96）
動画圧縮方式	MPEG-4 Simple profile level 1
静止画圧縮方式	JPEG
音声圧縮方式	G.726　または　AMR（中／低）(ASF形式) AMR（高／中／低）(RTP形式)

出荷時設定

■メモリカード動画

設定項目	設定値	工場出荷 初期設定値
データレート	32k,64k,128k,144k,192k,,256kbps	64kbps
画質	高、中、低	中
解像度	CIF、QCIF、SQCIF	QCIF
音声	G.726、AMR（中）、AMR(低)、音声無し	G.726

■ASF動画設定

設定項目	設定値	工場出荷 初期設定値
リアルタイム動画配信	有効、無効	有効
データレート	32k,64k,128k,144k,192k, 256k,384k,512k,768kbps	64kbps
画質	高、中、低	中
解像度	CIF、QCIF、SQCIF	QCIF
音声	G.726、AMR（中）、AMR(低)、音声無し	G.726

■RTP動画設定

設定項目	設定値	工場出荷 初期設定値
リアルタイム動画配信	有効、無効	有効
データレート	32k,50k,52k,64k,128k,256kbps	64kbps
画質	高、中、低	中
解像度	CIF、QCIF、SQCIF	QCIF
音声	AMR（高）、AMR（中）、AMR(低)、音声無し	AMR(低)
リフレッシュ周期	5,10,15,20秒間隔	5秒間隔
最大フレームレート	5,7.5,10,15,30フレーム	15フレーム
グローバルIP設定	有効、無効	無効
グローバルIPアドレス		【空】

■静止画設定

設定項目	設定値	工場出荷 初期設定値
画質	高、中、低	中
解像度	CIF、QCIF、SQCIF	QCIF

■カメラ・外部入力設定

設定項目	設定値	工場出荷 初期設定値
映像入力	内蔵カメラ、外部入力	内蔵カメラ
音声入力	内蔵マイク、外部入力	内蔵マイク
内蔵カメラ画像上下反転表示	有効、無効	無効

■ネットワーク設定

設定項目			設定値	工場出荷 初期設定値
共通設定	カメラタイトル			【空】
	ホスト名			TSR-MS4R
	IPアドレス通知	メール送信先アドレス		【空】
		FTP転送先ディレクトリ		【空】
		FTP転送ファイル名		【空】
	メール設定	メールアドレス		【空】
		SMTPサーバ		【空】
		POP before SMTP	有効、無効	無効
		POPサーバ		【空】
		メールID		【空】
		パスワード		【空】
	FTP設定	FTPサーバ		【空】
		FTP ID		【空】
		パスワード		【空】
内蔵LAN設定	IPアドレス	固定IPアドレスを指定する DHCPクライアント機能を使用する		固定IPアドレスを指定する
	固定IPアドレスを指定する	IPアドレス		192.168.0.150
		サブネットマスク		255.255.255.0
	DHCPクライアント機能を使用する	E-mailによる通知	チェックボックス・オン/オフ	オフ
		FTPによる通知	チェックボックス・オン/オフ	オフ
	デフォルトゲートウェイ			192.168.0.1
	DNSサーバ	DNSプライマリ		192.168.0.1
		DNSセカンダリ		【空】

■ネットワーク設定（つづき）

設定項目			設定値	工場出荷初期設定値
無線LAN設定	IPアドレス	固定IPアドレスを使用する DHCPクライアント機能を使用する		DHCPクライアント機能を使用する
	固定IPアドレスを使用する	IPアドレス		192.168.1.2
		サブネットマスク		255.255.255.0
	DHCPクライアント機能を使用する	E-mailによる通知	チェックボックス・オン/オフ	オフ
		FTPによる通知	チェックボックス・オン/オフ	オフ
	無線設定	WEP暗号化	40Bit、12Bit、無効	無効
		WEP Key		【空】
		通信モード	Ad hoc Infrastructure	Infrastructure
		ESS-ID		【空】
		チャネル番号	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14	1
	デフォルトデートウェイ			【空】
PPPoE設定	PPPoE	使用する 使用しない		使用しない
	使用する	PPPoE ID		【空】
		パスワード		【空】
	IPアドレス	固定IPアドレスを使用する IPアドレスを自動的に割り当てる		IPアドレスを自動的に割り当てる
	固定IPアドレスを使用する	IPアドレス		【空】
	IPアドレスを自動的に割り当てる	E-mailによる通知	チェックボックス・オン/オフ	オフ
		FTPによる通知	チェックボックス・オン/オフ	オフ
	DNSサーバ	DNSプライマリ		【空】
		DNSセカンダリ		【空】

■ネットワーク設定（つづき）

設定項目			設定値	工場出荷 初期設定値
PPP設定	発信機能	有効、無効		無効
	有効	電話番号		【空】
		PPP ID		【空】
		パスワード		【空】
	IPアドレス	固定IPアドレスを使用する IPアドレスを自動的に割り当てる		IPアドレスを自動的に割り当てる
	固定IPアドレスを使用する	IPアドレス		【空】
		サブネットマスク		【空】
	DNSサーバ	DNSプライマリ		【空】
		DNSセカンダリ		【空】
	着信機能	PPP着信 無効		無効
	PPP着信	PPP受信IPアドレス		【空】
		PPPクライアントIPアドレス		【空】
		着信番号制限	有効、無効	無効
		着信許可番号	最大5件入力可能	【空】
ダイナミックDNS設定	DDNSサービス	使用する 使用しない		使用しない
	使用する	ホスト名		【空】
		シリアル番号		【空】
		パスワード		【空】
		サーバへのアクセス頻度	10,20,30, 40,50,60分	60分

■システム設定

設定項目			設定値	工場出荷初期設定
時刻設定			YYYY年MM月DD日MM分SS秒	正常な時間
アクセス制限設定	動画配信・静止画表示アクセス制限		有効、無効	無効
	動画配信最大セッション数		5.4.3.2.1セッション	5セッション
ユーザー管理	新規ユーザー登録	ユーザーID		【空】
		パスワード		【空】
		パスワード（確認）		【空】
		権限レベル	レベル1.2.3	レベル1
		PPP着信	許可する 許可しない	許可しない
	登録ユーザー一覧	パスワード		adminの初期パスワード:【空】
		パスワード（確認）		adminの初期パスワード（確認）:【空】
		権限レベル		adminの初期権限レベル:レベル3
		PPP着信		adminの初期PPP着信:許可しない

お手入れについて

本製品のお手入れ

本製品の汚れは柔らかい布などで軽くふき取ってください汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。

注意

・本製品の表面はABS樹脂が使われています。ベンジン・シンナーなどの薬品で拭いたり、日焼け止めクリームや化粧品が付着すると変色することがありますので、ご注意ください。

レンズのお手入れ

本製品本体カメラ部分のレンズのお手入れは、カメラ用のブロワーで軽く拭き取るように行なってください。

注意

・特に、砂やホコリの付着した状態では強く拭かないでください。レンズが傷つく恐れがあります。

端子、プラグ、コネクタなどのお手入れ

端子、プラグ、コネクタなどに付着した汚れなどは、乾いた綿棒などでお手入れしてください。これらが汚れていると接触が悪くなり、正常に動作しない場合があります。

注意

・お手入れの際は、必ず電源を切断してください。
・電源プラグをコンセントから抜き、本製品に接続されている各種ケーブルやCFカードなどを取り出してください。
・火災、感電、漏電、故障の原因となります。

セキュリティについて

本製品のご使用にあたり、管理者（レベル3の権限をもつユーザー）のパスワードを設定されることを強くお勧めいたします。
管理者用パスワードを設定しない場合、他のネットワーク上から他者により、お客様がおもちの本製品に対して設定変更などが行なわれてしまう可能性があります。
これはセキュリティ上、好ましくありません。
管理者パスワードを設定することにより、安全に本製品をご使用になられることをお勧めいたします。
また、本製品へあ管理者以外においても、設定操作の権限を持つユーザーを登録することが可能です。ユーザー登録の際には、登録情報の取り扱いに十分ご注意ください。

重要

・ユーザー管理、パスワード管理の方法につきましては、別途記載しております。
詳細は、「TSR-MS4R取扱説明書.PDF」の【ユーザー管理】（184ページ）の個所を参照してください

アフターサービス

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ Newsなど

サポートソフトやファームウェアをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトやファームウェアをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新 サポートソフトや ファームウェア

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター

電話：　本社…**076-260-3644**　東京…**03-3254-1144**
※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**

インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとソフトウェアのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

ファームウェアのバージョンアップについて

本製品は内部のファームウェアのバージョンアップ(更新)を行なう事が可能です。この機能により、CFカードのサポートの追加や機能拡張などを行なうことが可能となります。通常ならば、ファームウェアの更新作業は複雑ですが、本製品ではアップデートユーティリティにより、簡単にバージョンアップできます。アップデート方法につきましては、サポートページにてご確認ください。
サポートページは、前ページを参照してください。

注意

・ファームウェアの更新作業を行なうことができるのは、【ユーザーの管理】の【レベル3】の権限を持ったユーザーのみとなっております。
詳細は「TSR-MS4R取扱説明書.PDF」の【ユーザー管理】(184ページ)の個所を参照してください

・ファームウェアの更新を行なう環境は、本製品とお使いのパソコンをLANクロスケーブルを用いて一対一で接続したネットワーク環境が前提となっております。それ以外のネットワーク環境ではアップデートユーティリティの動作は保証いたしかねますので、ご注意ください。

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理について（つづき）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの
返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【呼び方】

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System、 Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98 SEの総称

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ･オー･データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

TSR-MS4R 取扱説明書

2002.11.20　　142471-01

発 行　株式会社アイ･オー･データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地